

各國刑法類纂 第三卷

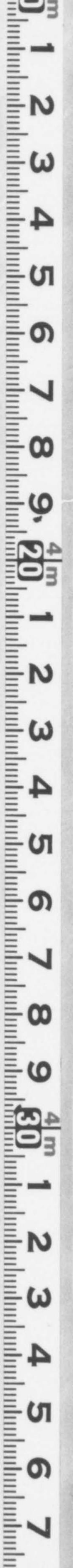
司法省記錄文庫

保
第五百四十七號
七
海
ノ
四

第 五	第 一 架	第 五 號
--------	-------------	-------------

司法省記錄文庫

第
一
一
號



自卷之
一
一

刑務省
刑務課

廢止

B600
S 1
9 C

第二十六 内國ノ安寧及國王ノ族ニ關スル犯罪

○佛蘭西

第八十六條

千八百五十二年
如左ノ如ク換フ日

皇帝ノ生命及ヒ身體等ヘ對シタル暴行ハ尊屬ノ親ヲ弑シタル刑ヲ以テ罰ス可シ
皇族ノ生命ニ對シタル暴行ハ死刑ヲ以テ罰ス可シ

皇族ノ身體ヘ對シタル暴行ハ城寨中ヘ謫スル流刑ヲ以テ罰ス可シ
皇帝ノ身體ヘ對シ公然ニ行ヒタル諸般ノ不敬ハ六月ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處シ且五百

ラニク^レカ^一フ^一ラニク^レハ^一大凡我ヨリ少カラ
ス一萬^一フ^一ラニク^レヨリ多カラサル罰金ヲ
以テ罰ス可シ
其犯人ハ其禁錮ノ期限ニ均シキ時間茅
四十二條ニ記シタル民権ノ全部又ハ一
部ヲ行フ可ラサルノ禁ヲ受ク可シ但シ
其期限ハ刑期ノ終リニ日ヨリニテ算ス
可シ
皇族ヘ對シ公然ニ行ヒタル諸般ノ不敬
ハ一月ヨリ少カラス三年ヨリ多カラサ
ル時間禁錮ノ刑ニ處シ且百^一フ^一ラニク^レヨ
リ少カラス五千^一フ^一ラニク^レヨリ多カラサ
ル罰金ヲ以テ罰ス可シ

茅八十七條

千八百五十三年茅六月十日ノ法ニ於テ如左換フ 政府ヲ

覆ヘシ又ハ皇嗣ノ順序ヲ紊リ又ハ臣民ヲシ
テ帝權ヲ拒ミ兵器ヲ弄サシメント為ス等ノ
事ヲ目的ト為タル暴行ハ城寨中ニ謫スルノ
流刑ヲ以テ罰ス可シ

茅八十八條

其事ヲ既ニ行ヒ又ハ將ニ行ント
スルノミ等ヲ以テ暴行ノ罪ナリトス

茅八十九條

茅八十六條及ヒ茅八十七條ニ記
シタル重罪ヲ目的ト為タル陰謀ヲ醸シテ之
ヲ行ハントスル預備ヲナスノ所為ヲ既ニ行
ヒ又ハ開手^{トリカケル}シタル等ノ時ハ流刑ヲ以テ罰ス
可シ

若シ之ヲ行ハントスル預備ヲ為スノ所為ヲ

既ニ行ヒ又ハ開手シタル等ノ事ナキ時ハ囚
獄ノ刑ヲ以テ罰ス可シ

二人以上ニ於テ其事ヲ行ハント高議ノ既定
シタル時ハ陰謀ノ罪ナリトス

第 八 十 六 條 及 ヒ 第 八 十 七 條 ニ 記 シ タ ル 重 罪
ノ 犯 ヲ 終 成 ス 可 キ 陰 謀 ヲ 醸 ス 可 キ 發 言 ヲ ナ

ス 者 ア リ ト 雖 氏 招 議 セ サ ル 時 ハ 其 發 言 ノ 者
ヲ 一 年 ヨ リ 少 カ ラ ス 五 年 ヨ リ 多 カ ラ サ ル 時

間 禁 錮 ノ 刑 ニ 處 シ 且 其 犯 人 ハ 第 四 十 二 條 ニ
記 シ タ ル 權 ノ 全 部 又 ハ 一 部 ヲ 行 フ ノ 禁 ヲ 受

ク 可 シ
第 九 十 條 第 八 十 六 條 ニ 記 シ タ ル 重 罪 ノ 犯 ヲ
行 ハ ン ト 一 人 ニ 於 テ 決 定 ヲ 為 シ 其 行 ハ ン ト

ス ル ノ 所 為 ヲ 他 人 ノ 助 ナ ク 自 カ ラ 之 ヲ 為 シ 及 ヒ
為 サ ン ト シ タ ル 時 等 ハ 囚 獄 ノ 刑 ニ 處 ス 可 シ

第 九 十 一 條 臣 民 ヲ 互 ニ 兵 器 ヲ 弄 セ シ メ
及 ヒ 兵 器 ヲ 弄 セ シ メ ン ト シ テ 内 亂 ヲ 起 サ ン

ト ナ シ 又 ハ 一 箇 ノ 「 コ ム ミ ュ ー ニ 」 及 ヒ 數 箇 ノ 「 コ
ム ミ ュ ー ニ 」 等 ニ 於 テ 乱 妨 乱 殺 掠 奪 等 ヲ 為 ス 等

ノ 事 ヲ 目 的 ト 為 シ タ ル 暴 行 ハ 死 刑 ヲ 以 テ 罰
ス 可 シ

此 重 罪 中 ノ 一 ヲ 目 的 ト 為 タ ル 陰 謀 及 ヒ 其 陰
謀 ヲ 醸 サ ン ト ス ル 發 言 等 ヲ 為 シ タ ル 者 ハ 第

八 十 九 條 ニ 記 シ タ ル 刑 ヲ 以 テ 罰 ス 可 シ 但 シ
其 陰 謀 ノ 罪 ノ 刑 ト 陰 謀 ヲ 醸 ス 可 キ 一 ヲ 發 言

シ タ ル 罪 ノ 刑 ト ハ 第 八 十 九 條 ニ 記 シ タ ル 區
司 法 省

シ タ ル 罪 ノ 刑 ト ハ 第 八 十 九 條 ニ 記 シ タ ル 區

別ニ循フ可シ

第九十二條 正當ノ威權アル者ノ命及ヒ其允許等ナクシテ兵器ヲ弄シタル羣衆ヲ募聚シ或ハ募聚セシメ又ハ兵卒ヲ雇ヒ及ヒ雇ハシメ又ハ兵卒ヲ募聚シ或ハ募聚セシメ又ハ兵卒ニ兵器及ヒ彈藥等ヲ給與シタル等ノ事ヲ為ス者ハ死刑ニ處セララル可シ

第九十三條 正當ノ威權ナク又ハ適當ノ道理ナクシテ一軍一隊一大船隊一小船隊兵船城寨陣營港口都府等ノ指揮ヲ執行ヒシ者ハ死刑ニ處セララル可シ

政府ノ命ニ背キ兵事ニ管係シタル指揮ヲ持スル者ハ死刑ニ處セララル可シ

軍隊ヲ解散シ又ハ離分ス可キノ命ヲ受シ後猶其軍隊ヲ屯聚シ置キタル指揮官ハ死刑ニ處セララル可シ

第九十四條 兵權ヲ握リシ者ノ法律ニ於テ定メタル兵卒召募ノ方ヲ妨ケシカ為メ已ノ指揮スル兵ニ其求需及ヒ命令等ヲ為シ又ハ其求需及ヒ命令等ヲ為サシメシ者ハ流刑ニ處セララル可シ

若シ其求需命令等ニ於テ其事ヲ現ニ行ヒシ時ハ其犯人ヲ死刑ニ處ス可シ

第九十五條 地雷火ヲ破裂セシメ政府ニ屬スル建造物倉庫兵器製造所船舶及ヒ其他ノ財産等ヲ焚毀シ又ハ毀損セシ者ハ死刑ニ處セ

ラル可シ

第九十六條 政府ニ屬スル領地、財産、金額、城寨、都府、陣營、倉庫、兵器製造所、港口、船舶等ヲ強奪セント為シ及ヒ公然ノ財産又ハ臣民一般ノ財産等ヲ掠奪シ或ハ分配セント為シ又ハ此重罪ヲ行フ者ヲ扞制スル政府ノ兵力ヲ襲撃シ或ハ抗拒ス可キ為メ兵器ヲ弄シタル羣衆ノ首トナリ又ハ其羣衆中ノ職務ヲ行ヒ或ハ指揮役トナリタル者等ハ死刑ニ處セラル可シ

如此羣衆ヲ募聚スルノ指揮ヲ為シ又ハ其羣衆ヲ扇動シ及ヒ其規律ヲ立テ又ハ故ラニ其羣衆ニ兵器、彈藥其他兇行ヲ為ス可キ器具等

ヲ給與シ及ヒ食料ヲ餉シ又ハ其他ノ方略ヲ以テ其羣衆ノ指揮ヲ為ス者ト交通シタル者等ハ死刑ニ處セラル可シ

第九十七條 羣衆ヲ為タル者ノ第八十六條、第八十七條、第九十一條等ニ記シタル重罪犯ノ一箇及ヒ數箇ヲ行ヒ又ハ行ハント試ミ為タル時其群衆中ノ政府ノ命ニ抗シ集會セシ場所ニ於テ逮捕ヲ受シ者ハ其等級ノ區別ヲ論セス死刑ニ處セラル可シ

某集會ノ場所ニ於テ逮捕ヲ受シニ非スト雖氏其政府ノ命ニ抗シテ指揮ヲ為シ或ハ其羣衆ノ中ニ於テ指揮役及ヒ或ル職務ヲ行ヒシ者等ハ死刑ニ處セラル可シ

第九十八條 政府ノ命ニ抗シテ會集ヲ為ト雖
氏第九十六條第九十七條第九十一條等ニ記
シタル重罪犯ノ一箇及ヒ數箇ヲ以テ目的ト
為シ又ハ終成シタルニ非サル時ハ前條ニ記
シタル群衆中ノ者ノ其集會ノ場所ニ於テ逮
捕ヲ受ルト雖氏其指揮及ヒ或ル職務等ヲ行
ハサル時ハ流刑ニ處セラル可シ
第九十九條 前數條ニ記シタル羣衆ノ目的及
ヒ情體等ヲ知り威迫ニ因ラスニテ其群衆ニ
匿屋及ヒ隱匿ノ地又ハ集會所等ヲ貸與ヘタ
ル者ハ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ
第一百條 其群衆中ニ於テ指揮後及ヒ或ル職務
等ヲ行フナク文武官吏ノ叱責ニ因リ直チ

ニ其黨ヲ離脱スル者又ハ文武官吏ノ叱責ノ
後ト雖氏其政府ノ命ニ抗シテ集會ヲ為タル
場所外ニ於テ抗拒ヲ為スナク且兵器ヲ弄
スルナクシテ逮捕ヲ受シ者等ハ政府ノ命
ニ抗シタル所行ノ為メ刑ヲ受クルナカル
可シ

但シ此場合ニ於テ犯人ハ其一已ニ於テ行フ
タル格段ノ重罪ニツキ罰ヲ受クルノミト雖
氏五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時
間政府ノ監察ヲ受ク可シ

第一百一條 兵器トハ斫、搦、毆等ヲ為ス諸器械ヲ
云フ

挿懷ノ刀子、剪刀及ヒ尋常ノ杖等ハ人ヲ殺シ

又ハ毆傷ヲナス可キ為ノ用ヒタル時ノ外之
ヲ兵器ト云フ可カラス

第百八條 國ノ内部及ヒ外部ノ安寧ヲ害ス可
キ陰謀及ヒ重罪ノ犯等ヲ為ミタル者ノ其陰
謀及ヒ重罪ノ犯等ヲ為ミ又ハ為ニトセシ前
且訴訟ニ及フ可キ前等ニ於テ政府又ハ政事
ニ參スル官吏及ヒ裁判ノ取締後等ニ其陰謀
及ヒ重罪又ハ其首從等ヲ明告ミタル者又ハ
既ニ訴訟ニ及フノ時ト雖モ其首從ヲ捕獲ス
ル事ヲ助ケシ者等ハ其陰謀及ヒ重罪ノ犯等
ヲ為ミタル者ノ刑ヲ免ル可シ
然レモ其事ヲ明告シ又ハ捕獲ノ事ヲ助ケシ
犯人ハ其一生中又ハ或ル期限中政府ノ監察

ヲ受ク可キ刑ヲ言渡サレ可シ
此間可キ刑ヲ言渡サレ可シ
○獨逸

第九十四條 獨逸帝ニ對シ暴行ヲ為シ又一國

ノ臣民トシテ在リテ其國主ニ對シ暴行ヲ

為シ又何人ヲ論セス連邦ノ一國ニ在リテ其

王侯ニ對シ暴行ヲ為シタル者ハ無期ノ徒刑

又ハ無期ノ監禁ニ處シ其情狀輕キ時ハ五年

ヨリ短カラサル徒刑又ハ其期ニ等シキ時間

監禁ノ刑ニ處シ其餘公然ノ職務及ヒ公選ニ

ヨリ任セラレタル權ヲ剝奪ス可シ

若シ酌量軽減アル時ハ五年ヨリ短カラサル

監禁ニ處ス可シ

第九十五條 獨逸帝ニ對シ言語不敬ヲ

為シ又一國ノ臣民トシテ其國主ニ對シ以體勢ヲ又言ハ
國ニ在リテ其王侯ニ對シ以體勢ヲ不敬ヲ為シ又何人ヲ論セス連邦ノ一
為シタル者ハ二月ヨリ短カラサル禁獄ニ處
スヘシ
其禁獄ノ外公然ノ職務及ヒ公選ニヨリ任セ
ラレタル權ヲ剝奪ス可シ
第九十六條 一國ノ臣民トシテ在獨逸國ニ其主
族及ヒ其執政ニ對シ暴行ヲ為シタル者又ハ
何人ヲ論セス連邦ノ一國ニ在リテ其國ノ王
族及ヒ侯族又ハ其執政ニ對シ暴行ヲ為シタ
ル者ハ五年ヨリ短カラサル徒刑又ハ其期ニ
等シキ時間監禁ノ刑ニ處ス可シ

若シ酌量輕減アルトキハ一ケ年ヨリ五年ニ
至ル監禁ニ處ス可シ

第九十七條 一國ノ臣民トシテ在獨逸國ニ其主
族ニ又ハ其執政ニ對シ以體勢ヲ不敬ヲ為
シタル者又ハ何人ヲ論セス連邦ノ一國ニ在
リテ其國ノ王族及ヒ侯族又ハ其執政ニ對シ
以體勢ヲ不敬ヲ為シタル者ハ一月ヨリ三
年ニ至ル禁獄又ハ其期ニ等シキ時間監禁ノ
刑ニ處ス可シ

第九十八條 獨逸帝ヲ謀殺シ且謀殺セント企ル
者又一國ノ臣民トシテ在獨逸國ニ其國主ヲ謀殺
シ且謀殺セント企ツル者又何人ヲ論セス連
邦ノ一國ニ在リテ其王侯ヲ謀殺シ且謀殺

セニト企ツル者ハ謀及大逆ト为シ死刑ニ処ス
一國ノ臣民トシテ其國主ヲ謀殺ストハ
ス令ハ臣民トシテ其國主ヲ謀殺ストハ
レト謀殺ル且ツ謀殺セ
ニト企ツル者ハ

第八十一條

前條ノ外左ノ件々ヲ企ツル者ハ

謀及大逆ノ犯人ト見做シ無期ノ徒刑又ハ無
期ノ監禁ニ処ス可シ

第一項

連邦ノ王侯ヲ殺サントシ又之レ

ヲ戰テ虜ニ付カシメントシ又之レ

之レヲ敵國ニ渡サントシ又之レ

侯ヲシテ自ラ撰改スルヲ能ハサ

ラシメントシタル者

第二項

獨逸國ノ政治及ヒ連邦一政府ノ

政治ヲ非理ニ覆カヘサントシ又

其國ニ定リタル即位ノ順次ヲ非
理ニ紊サントシタル者

第三項

連邦ノ領地ノ全部又ハ其一部ヲ

非理ニ外國政府ニ領セシメント

シ又ハ其領地ノ一部ヲ叛カシメ

ントシタル者

第四項

連邦ノ甲國ノ領地ノ全部又ハ其

一部ヲ非理ニ連邦ノ乙國へ領セ

シメントシタル者

若シ酌量減輕アル時ハ五年ヨリ短カラサル

監禁ノ刑ニ處ス可シ

其餘公然ノ職務及ヒ公選ニヨリ任セラレタ

ル權ヲ剥奪ス可シ

第 八十二條 前條ノ企ヲ直ニ遂ケニ為メニ為

シタル凡百ノ所業ハ已ニ行フテ遂ケタル謀

反大逆ノ罪ト見做ス可シ

第 八十三條 多人集會シテ謀反大逆トナルヘ

キ企ヲ施行セシト悞議シタル者ハ假令ハ第

八十二條ニ循ヒ処刑ス可キ端緒アラストモ

五年ヨリ短カラサル徒刑又ハ其期ニ均シキ

時間監禁ノ刑ニ処ス可シ

若シ酌量輕減アル片ハ二年ヨリ短カラサル

時間監禁ノ刑ニ処ス可シ

其餘公然ノ職務及ヒ公選ニヨリ任セラレタ

ル權ヲ剥奪ス可シ

第 八十四條 謀反大逆トナルヘキ重罪ヲ施行

セシトスルノ預備ヲ成ス為メ外国政府ト交

通シ又ハ独逸帝又ハ連邦ノ一政府ヨリ委任

シタル權ヲ擅ニシ外国へ送ラレタ又ハ兵隊

ヲ編制シ又ハ其兵隊ニ兵器ヲ持セ訓練セシ

メタル者ハ第 八十三條ニ掲ケタル刑ニ処ス

可シ

第 八十五條 公然ト衆人ノ目前ニ於テ又ハ昏

画類ヲ配分シ又ハ公ニ張り出シ因テ八十二

條ニ掲載シタル所業ヲ行ハシメント鼓動シ

タル者ハ十年ヨリ長カラサル徒刑或ハ其期

ニ等シキ時間監禁ノ刑ニ処ス可シ

若シ酌量輕減アル時ハ一年ヨリ短カラス五

年ヨリ長カラサル監禁ニ處ス可シ

第百八十六條 謀及大逆ノ企ノ預備ヲ為シタル者ハ三年ヨリ長カラサル徒刑又ハ其期ニ等シキ時間監禁ノ刑ニ處ス可シ
若シ酌量輕減アル時ハ六月ヨリ三年ニ至ル監禁ニ處ス可シ

第百二十七條 官ノ許可ナキ軍隊ヲ編制シ又ハ指揮シ又ハ官ノ許可ナク集會シタル軍隊ナルヲ知テ兵器花ニ彈藥ヲ供シタル者ハ二年ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ
某集會シタル軍隊ニ組シタル者ハ一年ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ

第百二十八條 事ノ成立及ヒ其編制目的等ノ機密ニ渡ツタル會合ニ組シ又其現ニ知ラサ

ル長ニ從順セシト約シ又其知シタル長ニ全ク從順セシト約シタル時其會合ニ組シタル者ハ六月ヨリ長カラサル禁獄其創業者及ヒ其長ハ一月ヨリ一年ニ至ル禁獄ニ處ス可シ
若シ官吏其會合ニ組シタル片ハ禁獄ノ外一年ヨリ五年ニ至ル時間公然タル職務ヲ行フ丁ヲ得サルノ言渡ヲナス丁ヲ得可シ

第百三十條 國ノ安寧ノ害トナルヘキ方法ニテ各種ノ人民ヲシテ互ニ暴行ヲ為サシメニ為教唆鼓動シタル者ハ二百タールヨリ多カラサル罰金又二年ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ

第百三十三條 官ノ倉庫ニ收藏シタル文書簿

冊証昏及ヒ其他物件ヲ故ラニ破毀シ又ハ隱
匿シ又ハ公ニ官吏及ヒ常人ニ委托シタル文
昏簿冊及ヒ物件ヲ故ラニ破毀シ又ハ隱匿シタ
ル者ハ禁獄ニ處ス可シ
已レノ利益ヲ得ントスルノ意ニテ其事ヲ為
シタル者ハ三月ヨリ短カラサル禁獄ニ處ス
其餘公權ヲ剝奪スル丁ヲ得可シ

第百三十五條 独逸國ノ官廳ノ号表及ヒ連邦
諸國ノ王侯ノ号表又連邦諸國ノ政府ノ号表
ヲ惡意ヲ以テ掠奪シ又之レヲ破毀損傷シタ
ル者ハ二百タリレヨリ多カラサル罰金又
二年ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ
第百三十九條 信スルニ足ルヘキ品位アル者

コテ國ニ對セシ謀反大逆及ヒ謀叛貨幣鑄造
強盜略賣又人民ノ危難トナルヘキ重大ノ企
アルヲ知りテ之レヲ防止スヘキ時間アルニ
官廳又其害ヲ受ケントスル人ニ之レヲ告知
セサル片若シ本犯其重罪ヲ犯シ又ハ之レヲ
犯シトセシ所業アル時ハ禁獄ニ處ス可シ

○埃及

○埃及

第二章 國ノ内部ノ安寧ヲ害スル重罪及

ノ罪

第八十三条 何人ニ限ラス本國人民ヲ煽動シテ政府ニ抗敵セシメント謀リ現ニ其暴行ヲ為シ又ハ其暴行ヲ為シ始メタル者ハ死刑ニ処セラル可シ

第八十四条 國民ヲシテ互ニ抗敵セシメ内亂ヲ起サント為シ又ハ一箇ノ地方或ハ數箇ノ地方ニ於テ亂妨、虐殺、掠奪ヲ為サシメ内亂ヲ起サント為ス目的ヲ以テ暴行ヲ為スヲ謀リタル者現ニ其暴行ヲ為シ又ハ之ヲ為シ始メタルニ於テハ死刑ニ処セラル可シ

第 八 十 五 条 兇 徒 ヲ 羣 聚 シ テ 前 二 条 ニ 記 シ タ
ル 重 罪 ヲ 行 ヒ 又 ハ 行 ハ ン ト 試 ミ 為 シ タ ル 時
ハ 其 群 聚 ヲ 指 揮 シ 或 ハ 之 ヲ 煽 動 セ シ 者 ヲ 死
刑 ニ 処 ス 可 ク 何 レ ノ 地 ニ 於 テ 其 捕 縛 セ ラ レ
シ ヲ 問 フ 丁 ナ シ 又 其 他 ノ 者 ハ 右 聚 合 ノ 地 ニ
於 テ 捕 縛 セ ラ レ タ ル 者 ハ 其 罪 ノ 輕 重 ニ 准 シ
三 年 ヨ リ 少 ナ カ ラ ス 十 五 年 ヨ リ 多 カ ラ サ ル
時 間 徒 刑 ニ 処 セ ラ ル 可 シ

第 八 十 六 条 数 人 會 合 シ テ 第 八 十 三 条 及 ヒ 第
八 十 四 条 ニ 記 ス ル 重 罪 ヲ 行 ハ ン ト 謀 リ 互 ニ
其 謀 計 ヲ 協 議 決 定 シ テ 現 ニ 暴 行 ヲ 為 ス ニ 至
ラ ス ト 虽 此 之 レ カ 設 備 ノ 所 為 ヲ 行 フ タ ル 時
ハ 其 犯 人 無 期 ノ 追 放 ノ 刑 ニ 処 セ ラ ル 可 シ

又 右 ノ 謀 計 ヲ 協 議 決 定 シ タ ル ノ ミ ニ テ 其 暴
行 ノ 設 備 ノ 所 為 ヲ 行 ハ サ ル 時 ハ 其 犯 人 有 期
ノ 繫 獄 ノ 刑 ニ 処 セ ラ ル 可 シ

又 右 ノ 謀 計 ヲ 行 ハ ン ト 述 フ ル 者 ア リ テ 其 協
議 決 定 ヲ 為 サ ル 時 ハ 之 ヲ 述 ヘ シ 者 一 年 ヨ
リ 少 ナ カ ラ ス 三 年 ヨ リ 多 カ ラ サ ル 時 間 禁 錮
ノ 刑 ニ 処 セ ラ ル 可 シ

第 八 十 七 条 何 人 ニ 限 ラ ス 政 府 ノ 命 令 ナ ク 又
ハ 正 当 ノ 原 由 ナ ク 犯 罪 ノ 目 的 ヲ 以 テ 一 軍 一
隊 一 船 隊 兵 船 城 寨 陳 營 港 口 都 府 ヲ 指 揮 ス ル
職 ヲ 執 リ シ 者

政 府 ノ 命 ニ 背 キ 兵 ニ 管 係 シ タ ル 指 揮 ノ 職 ヲ
保 持 ス ル 者

政府ヨリ軍隊ヲ解散ス可キ命ヲ受ケシ後正
当ノ原由ナク其軍隊ヲ比聚シ置キタル指揮
官

此等ノ者ハ死刑ニ処セラル可シ

第八十八条 常備兵又ハ備警兵ヲ指揮スル者
政府ノ命シタル兵卒招募警務ヲ指揮スル者
揮スル兵ヲ用フルヲ求メ或ハ之ヲ指令セシ
時ハ無期ノ追放ノ刑ニ処セラル可シ
又其求メ又ハ指令ニ目リ現ニ政府ノ命シタ
ル兵卒招募ヲ妨ケタル時ハ其犯人死刑ニ処
セラル可シ
右不正ノ指令ニ順聴セシ士官又ハ下等指揮
官ハ有期ノ徒刑ニ処セラル可シ

第八十九条 何人ニ限ラス思定ノ惡意ヲ以テ
政府ニ屬スル建築物軍用品ノ倉庫及ヒ其他
ノ物件ヲ焚毀シ又ハ毀壞シタル者ハ死刑ニ
処セラル可シ

第九十条 何人ニ限ラス政府ニ屬スル土地或
ハ家屋ニ押入り又ハ其財貨ヲ掠奪シ又ハ衆
庶共通ノ不動産ヲ掠奪スル為メ又ハ此等ノ
犯罪人ヲ防制スル公ケノ兵ニ抵抗スル為メ
群聚シタル兇徒ノ頭目トナリ或ハ其群聚中
ニ於テ指揮役ヲ行ヒシ者ハ死刑ニ処セラル
可シ○右群聚中ニ在リテ指揮役ヲ行フナ
ク又其他ノ職務ヲ行フナク其群聚ノ場所
ニ於テ逮捕セラレシ者ハ有期ノ徒刑ニ処セ

ラレ可シ

第九十一條 遠近ノ別ナク前條ニ記シタル兇徒ノ群聚ヲ誘導シ又ハ其群聚ヲ編成シ又ハ故意ヲ以テ其群聚ニ兵器彈藥及ヒ其他犯罪ノ器具ヲ給與シ又ハ之ニ其食料ヲ送り又ハ其他如何ナル方法ヲ問ハス其群衆ノ誘導者或ハ指揮者ト惡意ヲ以テ通問シタル者又ハ其群聚ノ兇行ヲ為スヲ知り脅迫セラレシニ非スシテ之ヲ其家屋隱匿ノ場所聚會場ヲ貸與シタル者ハ有期ノ徒刑ニ処セラル可シ

第九十二條 右群聚中ノ者指揮ノ職又ハ其他ノ職務ヲ行フナク文武官吏ノ叱責ニ從ヒ直チニ其黨ヲ離脱セシ時又ハ文武官吏ノ叱

責ノ後ト虽モ群聚ヲ為シタル場所外ニ於テ抗拒ヲ為スナク且ツ兵器ヲ携フルナク逮捕セラレシ時ハ政府ノ命ニ抗スル所行ヲ為ス刑ヲ受クルナカル可シ○然ル時ハ右ノ者其自カラ行フタル犯罪ノミノ罰ヲ受ク可シ然レ氏右ノ者ハ五年ヨリ少ナカラス十年ヨリ多カラサル時間政府ノ監察ヲ受ケシムルヲ得可シ

第九十三條 又右群聚中ノ者政府ノ命ニ抗スル重罪ヲ未タ行フニ及ハス且ツ逮捕ノ未タ初マラサル前ニ官吏ニ其犯罪ノ首謀煽動者附從等ヲ告知セシ時又ハ逮捕ノ既ニ初マリシ後其首謀煽動者附從等ヲ捕獲スルヲ助ケシ

時ハ右重罪ヲ犯シタル刑ヲ免ル可シ○然レ
氏古ノ者ハ二年ニ過キサル時間政府ノ監察
ヲ受ケシムル丁ヲ得可シ

第九十四條 何人ニ限ラス衆人ノ聚合スル地ニ
於テ言詞ヲ發シ又ハ貼附書ヲ貼附シ又ハ書
冊ヲ配分シテ人民ヲ煽動シ此章ニ記スル重
罪ヲ犯サシメタル者ハ其重罪ノ首謀者タル
刑ヲ受ク可シ○然レ氏其煽動ノ實際ニ行ハ
レサル時ハ無期ノ追放ノ刑ニ處セラレ可シ

○白耳義

第九十一條 凡ソ國王ノ身体生命ニ對シ罪ヲ犯
ス者ハ死刑若シ其身ノ自由ヲ妨ケス(王ヲ獄

ニ下ス類)又血ヲ流ス如キ無ク又傷ヲ被ラシ
ムル如キ無ク又疾病ヲ起サシムル如キ無ク
唯其身ニ對シ罪ヲ犯ス者ハ終身懲役

第九十二條 凡太子ノ生命ニ對シ罪ヲ犯ス者ハ
死刑

若シ其身体ニ對シ罪ヲ犯ス者ハ終身懲役
若シ其身ノ自由ヲ妨ル無ク又血ヲ流ス無ク
又傷ヲ被ラシムル無ク又疾病ヲ起サシムル
無キノ者ハ十五年ヨリ二十年マテノ懲役ニ
処ス可シ

第九十三條 凡妃及ヒ國王正統ノ親及其外戚及
ヒ其兄弟ノ白國人ナル者及ヒ摂政及建國法
ニ掲載セル王權ヲ行フ宰相等ノ生命ニ對シ

罪ヲ犯ス者ハ必ス其成否ヲ論セス罪ヲ科ス
若シ其身体ニ對シ罪ヲ犯ス者ハ十年ヨリ十
五年マテノ懲後ニ處ス可ク若シ其身ノ自由
ヲ妨ケス血ヲ流ス無ク又傷ヲ被ラシムル無
ク又疾病ヲ起サシムル無キ者ハ監後ニ處ス
可シ

第百四條 凡ソ建國法ヲ變ニ或ハ王家継統法
ヲ革メ或ハ國民ヲ煽惑シ兵ヲ擧ケ王位若ク
ハ兩議院ヲ顛覆スル等ノ犯罪ハ皆終身禁錮
ニ處ス可シ

第百五條 凡ソ罪ヲ犯サントシ其事已ニ刑律
ヲ以テ論ス可キ者ハ皆之ヲ其犯罪トス

第百六條 凡ソ國王ノ身体及ヒ生命ヲ害

セントシ黨ヲ結ビ已ニ其施行ノ一策ヲ
行フ者ハ十五年ヨリ二十年マテノ懲後
否サル者ハ十年ヨリ十五年マテノ懲後
ニ處ス可シ

第百七條 凡ソ太子ノ身体及ヒ生命ヲ害セ
ントシ黨ヲ結ビ已ニ施行ノ一策ヲ行フ
者ハ十年ヨリ十五年マテノ懲後否ラサ
ル者ハ監後ニ處ス可シ

第百八條 凡ソ第百三條ニ掲載セル王族
及摂政或ハ宰相等ノ身体生命ヲ害セシ
トシ黨ヲ結フ者ハ監後ニ處ス可シ

第百九條 凡ソ第百四條ノ犯罪目的トシ
黨ヲ結ビ已ニ施行ノ一策ヲ行フ者ハ十

年ヨリ十五年マテノ禁錮否サル者モ五年ヨリ十年マテノ禁錮ニ處ス可シ

第百十條 凡ソ結黨ト称スル者ハ衆人相謀リ犯罪ノ策已ニ決スルヲ云フ

第百十一條 凡ソ國王太子或ハ第百三條ニ掲載セル王族及摂政及宰相等ノ身体生命ヲ害セント要シ其結黨セントスルニ應スル者無キハ一年ヨリ五年マテノ獄ニ處ス可シ

以上犯罪ハ本刑ノ外五年ヨリ十年マテノ警察ヲ科シ且ツ第百三十三條ノ民権剥奪ニ處ス可シ

第百十二條 凡國王太子及ヒ第百三條ニ掲載セル王族摂政官宰相ノ身体生命ヲ害セント

シ謀已ニ成リ結黨セス唯一人ニシテ己ニ施行ノ一策ヲ施ス者ハ監役ニ處ス可シ

第百二十四條 凡國民ヲシテ互ニ恨ヲ懷キ兵ヲ携ヘ戦争セシメ安寧ヲ害スル者ハ非常禁錮ニ處ス可シ

若シ以上ノ罪ヲ犯サレトシテ結黨シ己ニ施行ノ策ヲ行フ者ハ十年ヨリ十五年マテノ禁錮否サル者ハ同罪五年ヨリ十年マテトス

第百二十五條 凡ソ村邑ヲ掠略シ乱殺暴行スルヲ事トスル者ハ十五年ヨリ二十年マテノ懲後ニ處ス可シ

若シ以上ノ罪ヲ犯サントシ黨ヲ結ビ己ニ施行ノ策ヲ行フ者ハ十年ヨリ十五年マテノ懲

行ノ策ヲ行フ者ハ十年ヨリ十五年マテノ懲

後否サル者ハ監役

茅百二十六條 凡ソ長官ノ命若ツハ政府ノ允
許ニヨラス戎装セル軍民ヲ聚メ或ハ聚メシ
メ兵士ヲ募リ或ハ募ラシメ或ハ之レニ戎器
彈藥ヲ給授スル者ハ五年ヨリ十年マテノ禁
錮ニ処ス可シ

茅百二十七條 凡ソ左ニ掲載セル犯罪ハ皆五
年ヨリ十年マテノ禁錮ニ処ス可シ

權利ヲ有スル無ク若クハ理ノ弁説ス可キ無
クシテ大隊小隊軍艦城堡陣營灣港都府等ノ
号令ヲ擅マ、ニスル者

官命ニ抗シ兵隊ノ号令官ヲ退カサル者
兵隊解散ノ命ニ違ヒ之ヲ解散セサル者

茅百二十八條 凡ソ官ノ金錢領地財宝都府城
堡陣營倉庫武庫灣港船艦等ヲ掠奪シ或ハ此
等ノ反賊ヲ制壓スル官軍ヲ襲撃シ抗拒セシ
ト要ニ兇徒ノ号令ヲ司ル者及ヒ其徒中ニ職
ヲ行フ者ハ皆非常禁錮ニ処ス可シ

茅百二十九條 凡ソ前条ニ掲載セル兇徒公財
ヲ奪掠シ或ハ鎮撫兵ニ抗シ其隊ヲ号令スル
者及ヒ隊中ニ職ヲ行フ者ハ皆十五年ヨリ二
十年マテノ懲役ニ処ス可シ

茅百三十條 凡ソ結黨ノ謀主及ヒ兵ヲ募リ又
ハ募ラシメ隊ヲ編シ又ハ編セシムル者ハ皆
前二条ニ依テ論シ其次茅ニ應シ罪ヲ科ス
茅百三十一條 兇徒相聚リ茅百一條茅百二條

第百三條 第百四條ノ犯ヲ為ス者ヲ聚合ノ場ニ捕縛スルハ階級ヲ論セス本條ニ依テ論シ罪ヲ科ス

假令ニ其場所ニ捕縛スルヲ得サルモ全隊ヲ指揮シ若クハ一分隊ヲ号令シタル者ハ皆同科ニ論ス可シ

第百三十二條 凡ソ百一條百二條百三條百四條ノ犯ヲ目的トセサル兇徒事ニ臨テ捕ヘラレ隊中ニ指揮及其ノ他ノ職ヲ行ハサル者ハ其首謀ニ一等ヲ減ス

第百三十三條 凡ソ第百一條百二條百三條及百二十八條ノ犯ヲ目的トスル兇徒ヲ情ヲ知テ其全隊若クハ分隊ヲ宿セシメ或ハ之ヲ

隱匿シ或ハ之ニ會議ノ地ヲ給スル者ハ監役若シ兇徒ノ目的第百四條及百二十七條ノ犯ニ属スル者ハ五年ヨリ十年マテノ禁錮ニ処ス可シ

第百三十四條 凡ソ前條ニ掲載セル兇徒ニ與ニスルト雖モ其隊中ニ指揮ヲ為サス職ヲモ執ラス文官又ハ武官ノ鎮撫第一令ニ應スルカ或ハ其後ニ遁逃シ兇徒會合ノ地ニ非スニテ捕ハレ兇器ヲ持セス抗拒セサル者ハ論スル勿シ

但シ別ニ各其躬親カラ犯ス所アル者ハ各其本條ニ依テ論シ罪ヲ科ス

第百三十五條 凡ソ兇器ト称スル者ハ器械庖

丁類總テ殺傷衝政ニ便スル者ヲ云フ未タ之
ヲ用ヒサルモ其場ニ臨ミ之ヲ所持スル者ハ
皆兇器ヲ持ツ者トス

此篇中ニ於ル通用法

第百三十六條 凡ツ本篇ニ掲載セル結黨及ヒ
第百十一條ニ掲載セル犯ニ於テ未タ犯サ、
ル前及ヒ官ノ搜索ヲ為サ、ル前ニ自首シ其
陰謀或ハ其犯眾及ヒ其首謀及ヒ附從ヲ訴フ
ル者ハ論スル勿レ

六字目ヨリ認ム

○英吉利

謀反大逆

凡謀反大逆ハ皇帝及ヒ皇后若クハ皇太子ノ死
ヲ謀リテ事已ニ行フ者或ハ鎖獄セシメント企
テ争跡顯著ナル者ノ其罪至大其惡已ニ極ル罪
犯ヲ處決ス
其殺傷セシムルト虽モ過失ニ出ル者ハ此律ヲ
用ヒス

若シ止タ謀反大逆ヲ企ンテヲ談話スルト虽モ
事未タ企テサル者ハ第一等ノ輕罪ニ依テ論ス
其紙上ニ書寫スル者ハ事已ニ確明ナレハ仍ホ
本律ヲ用ユ、
謀反大逆 以下皆之ニ準ス

皇太后及皇女

凡皇后及ヒ皇女若クハ皇太子ノ妃ニ和スル者ハ各謀反大逆律ヲ以テ罪ヲ論ス是レ皇家ノ血統ヲ紊乱スルヲ深ク防禦ス其未亡人ニ及スル者ハ此律ニアラス

調發軍馬批抵皇家

凡宗門及ヒ法度ヲ改変シ或ハ君側ノ大臣ヲ掃除セン等ニ託言シテ私憤ヲ以テ軍馬ヲ調發シ皇家ニ批抵スル者ハ事ノ実否ヲ問ハス謀反大逆律ヲ以テ其罪ヲ論ス若シ私ニ衆徒ヲ連糾シテ盡ク国内ノ遊園及ヒ娼家等ヲ崩廢セント企ル者モ亦タ同ク謀反大逆律ヲ以テ論ス是レ皇威ヲ忌憚セス且ツ太政ノ權ヲ侵奪スレハナリ

其止タ一二ノ房屋ヲ崩壞セント欲シ事一般ニ及ハサル者ハ乃チ聚衆搔亂律ニ依テ論ス

漏泄軍情機密

凡敵人ニ軍情ノ機密ヲ漏泄シ及ヒ錢糧ヲ供給シ軍器ヲ販賣シ若シクハ輒ク城寨ヲ失陥シ依テ殺兵ヲ資ケ賊黨ヲ慰ル者モ亦タ謀反大逆ト為ス

殺死大臣

凡上院ノ長及ヒ大藏卿若クハ判事或ハ巡歷判事等ノ廳上各其職務ヲ施行スル處ニ於テ已ニ

殺死スル者モ亦タ謀反大逆律ヲ以テ論ス

其租稅ノ判事ハ此限内ニアラス

謀反大逆本律外不許專斷

凡前條已記載スル所ノ謀反大逆ノ五項外ニ
若シ更ニ本律ニ適擬スヘキ罪犯アルトキハ上
裁及ビ議事院ノ決議ヲ待テ処置スヘシ判事臨
時ニ之ヲ專断スルヲ許サス

謀反三年後不用本律

凡謀反大逆内ニ其帝王ノ死ヲ圖ル者ヲ除クノ
外罪犯已ニ犯時ヨリ三年ヲ経ル後ニ至テハ事
状明白ナリト虽モ謀反大逆律ヲ以テ処断スル
ヲ許サス

謀反大逆原刑

凡謀反大逆ノ処刑ハ其罪犯ヲハ杖ヲ作リタルニ載セ
刑場ヘ牽拽シ先ツ絞シテ後其首ヲ斬シ更ニ其
餘骸ヲ四部ニ割拵シテ旨ヲ請ヒ定奪ス

若シ罪犯ニ罪状ヲ告ル後ト虽モ皇帝及ビ内務
卿トノ連署アル赦書ヲ以テ止夕斬ニ換ヘ或ハ
死ヲ減スルヲ得ヘシ
若シ婦人ノ罪犯ハ刑場ヘ牽拽シテ絞ニ止ム余
按スルニ近年此処刑ヲ廢セリ

謀反大逆籍没財産

凡謀反大逆ヲ犯ス者ノ財産ハ盡ク官司ニ籍没
シ其子孫襲蔭スルヲ許サス余按スルニ方今
籍没ノ刑已ニ廢セリ

覺奉謀反

凡謀反大逆ヲ企ル者ヲ知レハ直チニ官司ニ覺
奉スヘシ若シ覺奉セズ却テ容隠スル者ハ知謀
反不告律ヲ以テ論ス

ミスアリニラフトリ

若シ謀反大逆ヲ相企ント念曰スル場所ニ偶然
ト到リ畧々其事実ヲ周知スレバ其人全ク無慮
ニアルハ罪スレバ得スト魚モ後故ラニ其場
ニ行キ更ニ其謀事ヲ聽聞ニテ為メニ容隠ヲ行
フ者ハ是レ兇惡ヲ蔭蔽資翼スレハ仍ホ謀反大
逆律ヲ以テ論ス

不覺奉謀反者処刑

凡謀反大逆ヲ知テ官司ニ告ケサル者ノ処刑ハ
入獄終身且ツ罪犯ノ終身其財産ヲ官司ニ没入
ス子孫ハ其産ニ世襲スルヲ許ルス

向帝王祭弓鏡

凡弓鏡ヲ向ケ或ハ瓦石ヲ擲テ帝位ヲ恐惶シ若
シハ殘傷セシメントスル者ハ第一等ノ輕罪ニ

坐シ五年ヨリ七年間ノ徒罪ニ擬ス或ハ三年ニ
過キサル所ノ入獄ニ処シ情ニ依リ其限内ニ三
度ヨリ多ラサル打背罪ヲ加フ

謀廢皇帝及皇太子尊号

凡皇帝及ヒ皇太子ノ尊号ヲ国内及ヒ属国内ニ
於テ廢止セント企テ或ハ兵カヲ以テ万機ニ切
迫シ若クハ淺事院ヲ恐怖シテ政道及ヒ教令ヲ
改変セシメントシ或ハ外國ノ兵ヲ国内ニ接引
セシムラ希圖シ因テ妄言傳說シ若クハ抄寫刊
刻スル者ヲ謀反ノ重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ノ
徒罪ニ擬シ或ハ二年ニ過サル所ノ入獄ニ擬シ
情ニ依リ苦役ヲ加フ

激動軍人反叛

凡海陸軍ノ士卒ヲ誑誘シテ衆ヲ聚メ反叛セシ
メントシ或ハ之ヲ煽動シテ衆ヲ聚メ反叛ニ致
ス者ハ五年ヨリ終身ニ至ル徒罪ニ処シ或ハ入
獄ニ處シ情ニ依リ苦役及ヒ隘牢ヲ加フ

兇徒聚衆

凡兇徒衆ヲ聚メ騷擾ヲ企シテ盟約ニ或ハ人
ヲ教誘シテ擔ハシメ若クハ人ニ轉輾シテ誓ハ
シメ或ハ誓詞ヲ為サスト兇モ止タ其場ニ在テ
隨意ニ若クハ其後ニ附隨スル者ハ並ニ重罪ニ
坐シ五年ヨリ七年ニ止ル徒罪ニ処断ス
若シ官許ヲ得ルヲ能ハサル事件ヲ人ニ隨意ニ
若クハ非法ノ明黨及ヒ盟約等ヲ知リテ為ニ容
隠シ或ハ覺挙セサル者モ罪亦同シ

若シ勢止ムヲ得スシテ一時其盟約ニ入ルト
兇モ但タ四日ノ内好機ヲ得テ治安裁判所ニ行
キ其事実ヲ以テ詳カニ首告スル者ニアラサレ
ハ其罪ヲ免サス若シ海軍陸軍ノ士卒ハ其親管
頭目ノ所ニ行キ自首スル者ニアラサレハ其罪
ヲ免サス

為誓詞盟約連紆明黨

凡誓詞盟約等ヲ為シテ非法ナル明黨ヲ連結シ
或ハ官許ヲ得ルヲ能ハサル事件ノ処案ニ名印
シ若クハ非法ナル明社ニ投入シ或ハ之ニ資力
扶金スル者ハ並ニ治安裁判所或ハ刑法裁判所
ニ於テ推問シ五年ヨリ七年ニ止ル徒罪ニ処シ
或ハ二年ニ止ム入獄ニ処断ス

教令ノ有盟約

凡謀反大逆謀殺若クハ死ニ諫ル大罪ヲ企テニ
ト欲シ盟約ヲ人ヲ誓ハシメ或ハ轉シテ人ニ
誓ハシメ若クハ人ノ誓ハントスルヲ助カスル
者ハ並ニ重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ニ至ル徒罪
ニ処断シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ処シ情ニ依リ
苦役及ヒ隘牢ヲ加フ
若シ勢止ムコトヲ得スレテ其盟約ヲ為スト魚モ
能ク十四日内ニ好機ヲ得テ其事情ヲ自首スル
者ニ非レハ仍ホ重罪ニ坐シ判事ノ適意ニ依テ
其罪ヲ処断ス

○第二十七 國ノ外部ノ安寧ヲ害スル犯罪

○佛蘭西

第七十五條 仏蘭西へ對シ兵器ヲ弄スル佛蘭西人ハ死刑ニ處ス可シ

第七十六條 外國政府及ヒ其官吏等ヲシテ佛蘭西へ對シ拒敵ヲ為サシメ又ハ戰ヲ構セシメ又ハ其拒敵戰鬥ヲ為スノ方畧ヲ得セシムル為メ其外國政府及ヒ其官吏ト姦謀ヲ構ヘ或ハ交通ヲ為タル者等ハ死刑ニ處ス可シ
縱令ヒ此姦謀及ヒ交通等ヨリ拒敵ノ事ヲ生スルニ至ラサル場合ト雖モ亦此規則ニ循フ可シ

第七十七條 國敵ノ佛蘭西領地及ヒ屬地ニ進

入スル事ヲ容易ナラシメ又ハ國敵ニ仏蘭西ニ屬スル都府、城寨、陣營、港口、倉庫、武器製造所、船舶等ヲ附與シ又ハ國敵ニ兵卒、民人、金銀、食料、兵器、彈藥等ノ資助ヲ給與シ又ハ士官、兵卒、水夫及ヒ其他ノ人民等ノ皇帝及ヒ國家ニ對シタル忠誠ノ心ヲ蠱惑シ或ハ其他ノ方畧ヲ以テ佛蘭西海陸ノ所領又ハ佛蘭西ノ海陸軍等ニ向ヒ敵兵ノ進撃ヲ助ク可キ為メ國敵ト共ニ姦謀ヲ構ヘ又ハ交通ヲ為タル者等ハ死刑ニ處ス可シ

第七十八條 敵國ノ臣民ト交通ノ事ニ於テ前條ニ記シタル重罪ノ一箇ヲ目的ト為スナラシト雖氏佛蘭西又ハ佛蘭西ノ與國ノ兵事及

ヒ政事等ノ害トナル可キ報知ヲ敵國ニ與フル事ノ生スルニ至ル時ハ其交通ヲ為シタル者ヲ囚獄ノ刑ニ處ス可シ但シ此規則ト間諜ノ行ヲ以テ交通ヲ為シ敵ニ其報知ヲ與ヘタル時更ニ重刑ニ處ス可キ規則ト相抵觸スルナカサル可シ

第七十九條 第七十六條及ヒ第七十七條ニ記シタル姦謀及ヒ交通等ハ佛蘭西ニ對シテ行ヒシ時ト雖氏又ハ佛蘭西ノ敵ト兵ヲ構スル佛蘭西ノ與國ニ對シテ行ヒシ時ト雖氏皆此二條ニ記シタル刑ヲ以テ犯者ヲ處ス可シ

第八十條 佛蘭西ノ長官、政府ノ官吏及ヒ其他職掌、景況等ニ因リ高議、出兵等ノ密事ノ委任

ヲ受ケ又ハ其事ニ參知スル丁ヲ得タル者等
ノ若シ其機密ヲ外國又ハ敵國ノ官吏へ洩漏
シタル時ハ第七十六條ニ記シタル刑ニ處セ
ラル可シ

第八十一條 佛蘭西ノ長官政府ノ官吏及ヒ政
府ヨリ委任ヲ得タル者等ノ其職掌ニ因テ城
寨兵器製造所、港口等ノ圖面ノ任ヲ受ケ其圖
面ノ一箇ヲ敵國又ハ敵國ノ官吏等ニ附與セ
シ時ハ死刑ニ處セラル可シ

若シ其圖面ヲ中立國又ハ與國ノ官吏等ニ附
與シタル時ハ囚獄ノ刑ニ處セラル可シ

第八十二條 賄賂、偽計、強奪等ニ因リ其圖面ヲ
得テ之ヲ敵國又ハ外國ノ官吏等へ附與シタ

ル前條ニ記シ官吏外ノ者ハ其官吏ト同一
ノ刑ニ處セラル可シ但シ其圖面ヲ敵國へ附
與セシ者ト外國へ附與セシ者トノ刑ハ前條
ノ區別ニ同シ

其圖面ヲ敵國又ハ外國等へ附與セシ者ノ若
シ姦兇ノ所為ニ非スシテ之ヲ得タル時第八
十一條ノ首項ニ記シタル場合ニ於テハ流刑
ニ處セラル可シ

第八十一條ノ次項ニ記シタル場合ニ於テハ
二年ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間
禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第八十三條 敵國ノ謀人又ハ兵卒等ヲ匿シ置
キ及ヒ匿シ置カシメシ者等ノ其事ノ発露ス

ル時ハ死刑ニ處セラル可シ

第八十四條 外國へ對シ政府ヨリ允許セサル拒敵ノ所行ヲ為スニ因リ外國ヲシテ我國ニ對シ構兵ノ事ヲ公告スルニ至ラシムル者ハ追放ノ刑ニ處セラル可シ若シ其事ニ因テ現ニ戰爭ニ至ル時ハ流刑ニ處セラル可シ

第八十五條 政府ヨリ允許セサル所行ヲ為スニ因リ外國ヲシテ佛蘭西人へ對シ其報復ヲ行フニ至ラシムル者ハ追放ノ刑ニ處セラル可シ

第八十八條 國ノ内部及ヒ外部ノ安寧ヲ害ス可キ陰謀及ヒ重罪ノ犯等ヲ為シタル者ノ其陰謀及ヒ重罪ノ犯等ヲ為シ又ハ為シトセシ前

且訴訟ニ及フ可キ前等ニ於テ政府又ハ政事ニ參スル官吏及ヒ裁判ノ取締後等ニ其陰謀及ヒ重罪又ハ其首從等ヲ明告シタル者又ハ既ニ訴訟ニ及フノ時ト雖モ其首從ヲ捕獲スル事ヲ助ケシ者等ハ其陰謀及ヒ重罪ノ犯等ヲ為シタル者ノ刑ヲ免ル可シ

然レモ其事ヲ明告シ又ハ捕獲ノ事ヲ助ケシ犯人ハ其一生中又ハ或ル期限内政府ノ監察ヲ受ク可キトテ言渡サル可シ

○獨逸

第八十七條 獨逸人外國政府ヲシテ獨逸國ニ對シ戰ヲ開カシメン為メ其政府ト交通シタ

レハ國ニ對セシ謀及トナシ五年ヨリ短カラ
サル徒刑ニ処シ若シ已ニ戰ヒ起リタル時ハ
無期ノ徒刑ニ処ス可シ
若シ酌量軽減アル時ハ六月ヨリ五年ニ至ル
監禁ニ處シ若シ已ニ戰ヒ起リタル時ハ五年
ヨリ短カラサル監禁ニ處ス可シ
其餘公然ノ職務及ヒ公選ニテ任セラレタル
權ヲ剥奪ス可シ

第 八 十 八 條 獨逸國ト交戰中獨逸人其敵國ノ
軍隊ニ雇ハレ且獨逸國及ヒ其同盟國ニ對シ
兵器ヲ弄シタル者ハ國ニ對セシ謀及トナシ
無期ノ徒刑又ハ無期ノ監禁ニ處ス可シ
若シ酌量軽減アル片ハ五年ヨリ短カラサル

監禁ニ處ス可シ

若シ獨逸人戰ノ起ル以前外國政府ノ軍後ニ
雇ハレ戰ヒノ起リタル後仍ホ外國ノ軍務ヲ
勤メ且ツ獨逸國及ヒ同盟國ニ對シ兵器ヲ弄
シタル者ハ國ニ對セシ謀叛トナシ二年ヨリ
十年ニ至ル徒刑又ハ其期ニ均シキ時間監禁
ノ刑ニ處ス可シ
若シ酌量軽減アル片ハ監禁ニ處ス其餘公然
ノ職務及ヒ公選ニヨリ任セラレタル權ヲ剥
奪ス可シ

第 八 十 九 條 獨逸國ト交戰中獨逸人故サラニ
其敵國ニ助ケヲ為シ又ハ獨逸國及ヒ其同盟
國ノ軍隊ノ害トナルヘキ丁ヲ為シタル者ハ

一章上ク
以下同シ

國ニ對セシ謀叛トナシ十年ヨリ長カラサル
徒刑又ハ其期ニ等シキ時間監禁ノ刑ニ処ス
若シ酌量輕減アル時ハ十年ヨリ長カラサル
監禁ニ処ス可シ
其餘公然ノ職務及ヒ公選ニヨリ任セラレタ
ル權ヲ剥奪ス可シ

第九十條 独逸國ト交戦中独逸人故ラニ其敵
國ヘ左ノ數件ヲ渡シタル者ハ無期ノ徒刑ニ
處ス可シ

一 第一項 堡寨要口防禦ノ為メ備ヘタル場
所又ハ其他警衛所又ハ独逸國及
ヒ其同盟國ノ兵隊又ハ士官及ヒ
兵卒ヲ渡シタル者

一 第二項 堡寨ノ事ヲ記シタル書籍船舶及
ヒ海軍上陸場金銀器械所倉庫彈
藥其他軍用品ヲ渡シ又ハ敵國ノ
為メ前ニ記シタル數件及ヒ橋梁
鐵道ヲ破毀シタル者

一 第三項 敵國ヲ助クル為メ人ヲ給與シ又
ハ独逸及ヒ其同盟國ノ兵ヲ鼓動
シテ敵國ニ逃走セシメタル者

一 第四項 兵略堡寨堡障要害等ノ圖面ヲ送
リタル者

一 第五項 敵ノ為メ作候ヲナシ又ハ敵ノ間
諜ヲ留メ置キ又ハ其間諜ノ為メ
ニ助ケヲ為シタル者

第六項 独逸國及ヒ同盟國ノ兵隊ヲ鼓動
シテ一揆ヲ起サシメタル者

若シ酌量輕減アル片ハ五年ヨリ短カラサル
監禁ニ処ス可シ

其餘公然ノ職務並ニ公選ニヨリ任セラレタ
ル權ヲ剝奪スヘシ

第九十一條 第八十七條第八十九條ニ掲載セ
タル重罪輕罪ニ該ル罪ヲ犯シタルモノ外國

人ナレハ軍事慣習ニ循テ処分シ若シ其外國
人独逸國及ヒ連邦ノ一國ノ領地内ニ住居シ

タル時間前件ノ所業ヲ為シタル片ハ第八十
七條及ヒ第九十條ニ循ヒ徒刑ニ処ス可シ

第九十二條 故ラニ左件ヲ外國政府ニ通信シ

タル者ハ二年ヨリ短カラサル徒刑ニ処ス可
シ

第一項 独逸國又ハ連邦ノ一政府ノ為メ

ニ外國政府ニ秘スヘキ事ヲ知り
テ其ノ機密堡寨ノ圖面及ヒ書類

ヲ渡シ又ハ之レヲ漏シタル者
外國政府ニ對シ獨逸國又ハ連邦

ノ一政府ノ特權ノ証拠トナル可
キ書類ヲ其特權ヲ害セニ為メニ

破棄シ又ハ贋造シ若シクハ廢止
シタル者

第三項 独逸國又ハ連邦ノ一政府ヨリ委
任ノ事ヲ其國ノ害トナルヘク外

國政府ト條約シタル者此項ハ重

送ラレタル公使ニ
関スル事ナリ

若シ酌量輕減アル時ハ六月ヨリ短カラサル
監禁ニ處ス可シ

茅九十三條 茅八十條茅八十三條茅八十四條
及ヒ茅八十七條ヨリ茅九十二條ニ至ル條ニ
掲載シタル事ニ付
始ル時ハ其結果ニ
至ル迄ハ其犯人現今所持スル財産及ヒ
中ニ得タル財産等ヲ論セス
尽ク封印スル丁
ヲ得可シ

○埃及

茅七十六條 何人ニ限ラス
敵ノ兵隊中ニ加ハ

リ國ニ對シテ兵器ヲ弄スル本國人ハ死刑ニ
處ス可シ

茅七十七條 外國政府又ハ其官吏ヲヒテ本國
ニ對シ敵對ヲ為サシムル為メ又ハ兵ヲ構セ
シムル為メ又ハ其敵對戰鬥ヲ為スノ方便ヲ
得セシムル為メ其外國政府又ハ其官吏ト陰
謀ヲ企テ或ハ通問ヲ為シタル本國人ハ死刑
ニ處ス可シ但シ其陰謀又ハ通問ノ為メ戰鬥
又ハ敵對ノ現ニ生シタルト否トヲ問フ丁ナ
シ

茅七十八條 敵ノ本國領地内ニ進入スルヲ容
易ナラシメ又ハ敵ニ本國ニ屬スル都府城寨
陣營港口倉庫武庫船舶ヲ渡シ又ハ敵ニ兵卒

金銀、食料、兵器、彈藥ノ資助ヲ給與シ又ハ兵卒ノ本國君主ニ對スル忠誠ノ心ヲ誘惑シ或ハ其他ノ方法ヲ以テ本國領地内ニ敵兵ノ進撃ヲ助ク可キ為メ敵ト共ニ陰謀ヲ企テ又ハ通問シタル本國人ハ死刑ニ処ス可シ

第七十九條 敵國ノ臣民ト通問スルニ付キ前條ニ記シタル重罪中ノ一箇ヲ目的ト為スナシト虽モ本國又ハ本國ノ與國ノ兵事及ヒ政事ノ模様ニ付キ害トナル可キ報知ヲ敵國ニ為シタル事ノ生スルニ至ル時ハ其通問ヲ為シタル者其罪ノ輕重ニ准シ有期ノ繫獄ノ刑ニ處セララル可シ○又政府ノ軍器ヲ敵ニ知ラシメントスル意ヲ以テ間諜ノ所為ヲ行ヒ

敵國ノ臣民ト通問報知ヲ為シタル者ハ其罪ノ輕重ニ准シ有期ノ徒刑ニ處セララル可シ○又右間諜ノ所為ヲ本國ノ兵隊中ニ於テ行フタル者ハ兵律ニ循ヒ死刑ニ處スル丁ヲ得可シ

第八十條 本國ノ官吏又ハ其他ノ者其職掌又ハ其身分ニ因リ政府ノ高議或ハ出兵ノ機密ヲ委任セラレ又ハ其機密ヲ知ル丁ヲ得タル時政府ノ命ヲ受テス惡意ヲ以テ其機密ヲ外國又ハ敵國ノ官吏ニ洩漏セシニ於テハ死刑ニ處セララル可シ但シ自カラ親ク外國又ハ敵國ノ官吏ニ告ケタルト他人ノ介入ヲ以テ告ケタルト問フ丁ナシ

第百一十一條 本國ノ官吏其職掌ニ曰テ城寨武庫、港口ノ圖面ヲ預リ其圖面ヲ敵國又ハ敵國ノ官吏ニ渡セシ時ハ三年ヨリ少カラス十五年ヨリ多カラサル時間徒刑ニ處セラル可シ又政府ノ允許ヲ受ケス外國中立國與國ノ官吏ニ右圖面ヲ渡シタル時ハ一年ヨリ少ナカラス三年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第百一十二條 敵國ノ間諜者タルヲ知テ自カラ之ヲ匿シ又ハ人ヲシテ之ヲ匿サシメタル本國人ハ無期ノ徒刑ニ處セラル可シ

○白耳義

第百一十三條 凡ソ兵器ヲ持シ白國ニ敵スル者ハ非常禁錮トス

第百一十四條 凡ソ外國政府若クハ其官吏ト交通シ兵ヲ擧テ白國ニ寇セシメント要シ或ハ其方略ヲ得セシムル者ハ十年ヨリ十五年マテノ禁錮トス之カ為メ國家ノ交際已ニ破ルル者ハ終身禁錮

第百一十五條 凡ソ國敵ニ國內侵入ノ方畧ヲ得セシムル者

白國所轄ノ都府城堡陣營灣港倉庫製作所(武器)船艦等ヲ國敵ニ與フル者
兵卒人民貨幣食料武器彈藥等ヲ國敵ニ給與スル者

白國海陸軍將校士卒雇夫及ヒ國人忠誠ノ心ヲ益惑ニ國敵ニ侵入進撃ノ便利ヲ得セシムル者

以上ハ皆終身禁錮

以上ノ犯ニ於テ已ニ試犯^{シテ}ノ罰スヘキ者ハ皆

本罪ヲ科ス

以上四犯ノ一ヲ犯サントスル結黨其謀ヲ遂

シトシ已ニ手ヲ試ムル者ハ十年ヨリ十五年

マテノ禁錮否サル者モ同罪五年ヨリ十年マ

テトス

第百十六條 凡ソ白國外同盟國ト共ニ他ノ外

寇ヲ防禦スルニ當リ其同盟國ニ對シ前條ノ

法ヲ犯ス者ハ各條ニ依テ論シ其本刑ニ處ス

第百十七條 凡ソ第百十五條ニ掲載セル犯罪

ニ非スト由臣民ト互ニ往復シ白國

ノ不利ヲ謀リ機密ヲ洩シ白國若クハ同盟國

ノ兵務ヲ損スル者ハ五年ヨリ十年マテノ禁

錮ニ處ス可シ

第百十八條 凡ソ白國人有司ノ職ニ居リ或ハ

其地位ニ居テ高議出兵等ノ機密ヲ參知シ野

心ヲ挾ミ之ヲ敵國若クハ其國ノ官吏ニ漏洩

スル者ハ終身禁錮

若シ野心ヲ挾ミ國ノ機密ヲ寇敵ニ非ル外國

若クハ其官吏ニ漏洩スル者ハ十年ヨリ十五

年マテノ禁錮ニ處ス可シ

第百十九條 凡ソ城堡製作所灣港等ノ画图ヲ

監主スル官吏野心ヲ挾ミ之ヲ外敵若クハ其
官吏ニ通ル者ハ終身禁錮

若シ野心ニ依リ其画圖ヲ寇敵ニ非ル外國或
ハ其官吏ニ通ル者ハ五年ヨリ十年マテノ禁
錮ニ処ス可シ

第百二十條 凡画圖監主ニ非ル賄賂詐偽強暴
恐嚇等ニ依リ之ヲ得野心ヲ挾ミ敵國若クハ
敵國ニ非ル外國ニ贈ル者罪監主ニ同シ即前
數條ノ區別ニ從ヒ本刑ヲ科ス

賄賂詐偽強暴恐嚇ヲ用ヒス以上ノ画圖ヲ得
之ヲ敵國政府若クハ其官吏ニ與フル者ハ五
年ヨリ十年マテノ禁錮其敵國ニ非ル政府若
クハ其官吏ニ與フル者ハ三月ヨリ二年マテ

ノ獄ニ處ス可シ

第百二十一條 凡ソ情ヲ知テ敵國ノ間諜及ヒ
兵士ヲ陰匿シ或ハ人ヲシテ陰匿セシムル者

ハ十年ヨリ十五年マテノ禁錮ニ處ス可シ
第百二十二條 敵ニ便利ヲ得セシメント要シ

物品ヲ破壊シ若クハ放火スル者ハ第百九篇第
三章ニ依テ論シ本刑ニ折衷シ左ノ刑ニ處ス
可シ

獄ニ該ル者ハ 監役

監役ニ該ル者ハ 懲役十年ヨリ十五年

懲役十年ヨリ十五年ニ該ル者ハ 懲役十五年ヨリ二十年

懲役十五年ヨリ二十年ニ該ル者ハ 終身懲役

第百二十三條 凡ソ政府ノ許可ヲ用ヒス妄リ

ニ事ヲ行ヒ白國ト外國トノ間ニ隙ヲ生セニ
トスル者ハ五年ヨリ十年マテノ禁錮若シ已
ニ隙ヲ生スル者ハ十年ヨリ十五年マテノ禁
錮ニ處ス可シ

第二十八官令ニ抗拒シ及官吏等ニ對スル不敬暴行ノ罪

○佛蘭西

第二百九條 裁判所ノ命ヲ傳フル官吏、田野森
林等ノ看守人、政府ノ兵隊、租稅收納ノ官吏、犯
人ヲ逮捕スル官吏、互市海口ノ稅官、訴訟ノ品
物ヲ管守スル官吏、政事裁判等ノ事務ニ管ス
ル官吏等ノ法律、公命、裁判所ノ命等ヲ行フ時
ニ於テ其諸般ノ官吏ヘ對シ襲撃ヲ為シ及ヒ
暴行ノ所為ヲ以テ抗拒ヲ為タル者ハ其時ノ
景況ニ從ヒ官署ノ命ニ抗スルノ輕罪又ハ官
署ノ命ニ抗スルノ重罪アリトス

第二百十條 若シ兵器ヲ弄シタル者ノ二十人
以上ニシテ前條ノ罪ヲ犯セシ時ハ其犯人ニ

於テ有期ノ徒刑ニ處セラル可シ但シ兵器ヲ
弄セサル時ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ
處セラル可シ

第百十一條 若シ兵器ヲ弄シタル者ノ三人
ヨリ二十人ニ至ルノ黨衆ヲ以テ官署ノ命ニ
抗スルノ罪ヲ犯セシ時ハ其犯人ニ於テ徒刑
場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラル可シ
但シ兵器ヲ弄セサル時ハ六月ヨリ少カラス
二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ
ル可シ

第百十二條 兵器ヲ弄シタル者ノ一人又ハ
二人ニシテ官署ノ命ニ抗スルノ罪ヲ犯シタ
ル時ハ其犯人ニ於テ六月ヨリ少カラス二年
ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可
シ但シ兵器ヲ弄セサル時ハ六月ヨリ少カラ
ス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セ
ラル可シ

第百十三條 黨衆ヲ為シテ官署ノ命ニ抗シ
タル時其黨衆中ノ職務ヲ行ハサル者ニ於テ
官吏ノ叱責ニ因リ直チニ其黨ヲ離脱シタル
時又ハ官吏ノ叱責ノ後ト雖モ官署ノ命ニ抗
シタル場所外ニ於テ抗拒スル事ナク且兵器
ヲ弄スル事ナク逮捕ヲ受ケシ時等ハ其犯人
ヲ第百一條ニ記シタル規則ヲ以テ處置ス可
シ

第百十四條 重罪犯及ヒ輕罪犯等ノ黨衆ニ

於テ其中ノ二人以上分明ナル兵器ヲ弄シタル時ハ其黨衆ヲ總稱シテ兵器ヲ弄シタル黨衆ト云

第二百十五條 兵器ヲ弄シタリト稱ス可ラサ
ル黨衆中ニ加ハリ暗藏ノ兵器ヲ弄シタル者
ハ兵器ヲ弄シタル黨衆中ニ加ハリシ時ト同
刑ヲ受ク可シ

第二百十六條 官署ノ命ニ抗スル所行ヲ為シ
タル時間ニ其犯ノ重罪及ヒ輕罪ノ首謀ニ於
テ若シ其官署ノ命ニ抗スルノ罪ヨリ更
ニ重罪ヲ犯シタル時ハ其罪ニツキ行フ可キ
刑ニ處セララル可シ

第二百十八條 官署ノ命ニ抗セシ罪ニツキ禁

錮ノ刑ノ言渡ヲ受ケレ犯人ハ其上十六「
」ヨリ少カラス二百「
」ヨリ多カラ
サル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第二百十九條

第一 製造所ニ於テ使役スル工丁及ヒ
雇工

第二 貧院ニ入りタル者

第三 被告ノ囚徒又ハ刑ノ言渡ヲ受ケ

レ囚徒

此等ノ者ノ或ハ兵器ヲ弄シ或ハ兵器ヲ弄セ
シニ非スト雖氏官署及ヒ取締ソ官吏又ハ政
府ノ兵隊等へ對シ暴行及ヒ脅迫等ヲ為シタ
ル黨衆ハ官署ノ命ニ抗シタル黨衆ナリト為

手
上
認
記

シテ罰ス可シ

第二百二十條 既ニ他ノ輕罪及ヒ重罪等ヲ犯シタルノ訴訟ヲ受ケシ囚徒又ハ刑ノ言渡ヲ受シ囚徒等ノ後ニ於テ官署ノ命ニ抗スルノ罪ヲ犯スニ因リ之レヲ刑ニ處スルノ法如左既犯ノ重罪犯及ヒ輕罪犯等ニ因リ死刑又ハ無期ノ刑等ニ非サル刑ヲ受ケシ犯人ハ其刑期ノ終リシ後ニ於テ直チニ官署ニ抗スルノ罪ヲ犯シタル刑ニ處セラル可シ其他ノ犯人ハ上等裁判所ニ於テ罪ノ赦宥ヲ受ケ又ハ赦宥ヲ受ケテ送致スルノ言渡ヲ得タル後直チニ官署ノ命ニ抗スルノ罪ヲ犯シタル刑ニ處セラル可シ

第二百一十一條 官署ノ命ニ抗シタル首謀及ヒ官署ノ命ニ抗スルノ所行ヲ挑唆シタル者等ハ其刑期ノ終リシ後猶五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間政府ノ別段ナル監察ヲ受ク可シ

第百二十二條 以下此ノ向ニ認ム

○獨逸

第百十條 人ヲシテ法律及ヒ布令又ハ官司ノ命ニ背カセシメノ為メ公然ト衆人ノ面前ニ於テ書画類ヲ分配シ又ハ公ニ之レヲ張り出シ又ハ之レヲ公告シテ誑誘シタル者ハ二百ターレルヨリ多カラサル罰金又ハ二年ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ

第百十一條 前條ニ載セタル方法ヲ以テ人ヲ
誑誘シテ罪ヲ犯サシメント其事ニ因テ現ニ
罪ヲ犯シ又ハ之レヲ犯サントセシノ所業ニ
及ニタル片ハ誑誘者トナシ罪ニ処ス可シ
若シ其誑誘ノ劬ナキ時ハ二百クローレルヨリ
多カラサル罪金又ハ一年ヨリ長カラサル禁
獄ニ処ス可シ然レ其刑種刑期ハ本罪ヲ処
スル刑ヨリ重カル可カラス

第百十二條 独逸國海陸軍隊ヲ誑誘煽動シテ
其上官ノ号令ニ背カシメ殊ニ休暇ノ時其召
ニ應セサラシメタル者ハ二年ヨリ長カラサ
ル禁獄ニ処ス可シ

第百十三條 法律ノ施行又ハ行政官廳ノ命令
ノ施行又ハ裁判所ノ刑名宣告各ノ施行ヲ司
リタル官吏ノ正當ノ職務ヲ行フニ對シ暴行
又ハ暴行ヲ加ント恐嚇シテ抗拒スル者又其
官吏ノ正當ノ職務ヲ行フニ對シ暴行ヲ為シ
タル者ハ二年ヨリ長カラサル禁獄又ハ五百
クローレルヨリ多カラサル罰金ニ處ス可シ
若シ正當ノ職ヲ行フ官吏ヲ輔佐スル人負常
備兵及ヒ郷保兵ニ屬シタル者ノ職務ヲ行フ
ニ當リ其人ニ對シ其罪ヲ犯シタル者ハ前同
刑ニ処ス可シ

第百十四條 暴行又ハ恐嚇ヲ以テ官廳及ヒ官
吏ヲシテ其職務ヲ遂ケシメ又ハ之レヲ廢止
セシメント企テタル者ハ禁獄ニ処ス可シ

茅百十五條 多勢ニテ茅百十三條及ヒ茅百十
四條ニ拳ケタル所業ヲ犯サシ為メ公然ト徒
黨ニ組シタル者ハ一揆ノ犯罪トナシ六月ヨ
リ短カラサル禁獄ニ処ス可シ
一揆ノ巨魁及ヒ一揆ニ組シタル者茅百十三
條及ヒ茅百十四條ニ拳ケタル所業ヲ為シタ
ル時ハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ処シ又改
府ノ監察ニ付ス丁ヲ得可シ
若シ酌量輕減アル片ハ六月ヨリ短カラサル
禁獄ニ処ス可シ

茅百十六條 道路市街ニ集會ヲ為シタル者官
廳官吏又ハ軍隊ノ指令官ヨリ離散スヘク促
カサレ已ニ三度ニ及ヒ仍ホ離散セサル者ハ

暴動ノ罪トナシ三月ヨリ長カラサル禁獄又
ハ五百タールレヨリ多カラサル罰金ニ處ス
可シ
若シ其暴動ニ於テ其官吏及ヒ軍隊ニ對シ多
勢ニテ暴行ヲ以テ抗拒シ又ハ暴行ヲ為シタ
ル時其所業ニ組シタル者ハ一揆ノ刑ニ處ス
可シ

茅百十七條 森林ノ官吏狩獵者守人森林ノ所
有者森林ノ權森林ノ權トハ自己ニ屬セル森
林ニテ唯其花利ヲ得ル權アル
者ヲ及狩獵ノ權是ハ自己ノ所有者ヨリ狩獵スル權ニ
テ其所有者ヨリ置キタル番人其職務及ヒ其權ヲ行フ片其人
ニ對シ暴行又暴行ヲ為サントスルノ恐嚇ヲ

ヲ以テ抗拒シタル者又其職務及ヒ其権ヲ行
フ時前ニ速ヘタル人ノ一人ニ對シ暴行ヲ為
シタル者ハ三年ヨリ長カラサル禁獄ニ処ス
可シ
人前ニ速ニ對シ抗拒暴動ヲナスニ火器武器
及ヒ其他ノ兇器ヲ以テ脅迫シ又ハ暴行ヲ以
テ之レヲ為シタル者一月ヨリ短カラサル禁
獄ノ刑ニ処ス可シ

茅百十八條 抗拒暴行ヲ為スニヨリ其人ノ身
體ヲ傷スル時ハ十年ヨリ長カラサル徒刑ニ
処シ若シ酌量輕減アル片ハ三月ヨリ短カラ
サル禁獄ニ處ス可シ

茅百十九條 百十七條及百十八條ニ載セタル
所業ノ一ヲ多數人ニテ犯シタル時ハ其刑ハ
法律ニ載セタル本刑ノ長期ノ半ニ加増スル
丁ヲ得可シ然レモ其禁獄ハ五年以上ニ及ホ
ス可カラス

茅百二十九條 行政官廳ヨリ施ス法度又法律
ノ施行ヲ不正ノ方法ヲ以テ妨ケ又ハ之レヲ
廢止スル丁ヲ目的トナシ又所業トスル會合
ニ組シタル時其組シタル者ハ一年ヨリ長カ
ラサル禁獄及ヒ其創業人又其長ハ三月ヨリ
二年ニ至ル禁獄ニ処ス可シ

若シ官吏其會合ニ組シタル時ハ禁獄ノ外一
年ヨリ五年ニ至ル時間公然ノ職務ヲ行フ丁
ヲ得サル丁ヲ言渡ス丁ヲ得可シ

第百三十一條 國ノ治道及ヒ官廳ノ法度ヲ蔑
視セシメントスルノ意ニテ虚作誤謬タル事
ト知ト虽モ故ラニ公然ト其事ヲ主張シ又流
言シタル者ハ二百タレルヨリ多カラサル
罰金又二年ヨリ短カラサル禁獄ニ處ス可シ
第百三十四條 官廳及ヒ官吏ヨリ公然ト張リ
出シタル貼紙ノ告示命令布達報告ヲ惡意ヲ
以テ破毀損傷シ又塗抹變換ヲ為シタル者ハ
百タレレルヨリ多カラサル罰金又六月ヨリ
長カラサル禁獄ニ處ス可シ

第百三十八條 証人陪審里正トシテ呼ビサレ
タル者不實ノ事ヲ以テ免レント主張スル者
ハ二月ヨリ長カラサル禁獄ニ處ス可シ

法律ニ因テ出席ヲ命シタル監定人モ亦同ク
論ス可シ

前ニ上ケタル者出席セサルトキ之レヲ処決
スヘキ本刑ト規律ノ條々ト低觸スル丁勿レ

第九十四條以下此ノ同ニ認ラレシ

○埃及

第百四十一條 裁判官會議院員陪審及ヒ其他
ノ諸官吏ノ其職務ヲ行フニ方リ又ハ其職務
ヲ行ハント為ス時、体様言詞脅迫ヲ以テ不敬
ヲ加ヘシ者ハ一週ヨリ少ナカラス六月ヨリ
多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ○
若シ裁判席又ハ會議席ニ於テ右ノ不敬ヲ加
ヘシ時ハ六月ヨリ少ナカラス一年ヨリ多カ

ラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

第百四十二條 前條ニ記スル景状ニ於テ裁判
所附官吏定備兵及ヒ總テ公ケノ兵カラ預カ
ル者又ハ公務ヲ任セラレシ者ニ不敬ヲ加ヘ
タル時ハ百圓アストルヨリ少ナカラス三百
圓アストルヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サル
可シ
又右兵ノ士官又ハ公ケノ兵カラ指揮スル者
ニ不敬ヲ加ヘタル時ハ一週ヨリ少ナカラス
一月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラ
ル可シ

第百四十三條 何人ニ限ラス兵器ヲ携ヘス且

ツ創傷ヲ被ラシメスト虽氏前二條ニ記列シ
タル各人ノ其職務ヲ行フニ當リ又ハ其職務
ヲ行ハント為ス時之ヲ攻撃シタル者ハ六月
ヨリ少ナカラス二年ヨリ多カラサル時間禁
錮ノ刑ニ處セラル可シ

第百四十四條 右ノ暴行ニ回リ創傷ヲ被ラシ
メ又ハ病ニ罹ラシメタル時ハ前條ニ記シタ
ル至重ノ刑ヲ適用ス可シ但シ其刑ハ平民ヲ
毆撃シ又ハ創傷ヲ被ラシムル罪ニ付キ言渡
ス可キ刑ニ倍セシムルヲ得可シ

第百四十五條 公ケノ兵カラ豫カル官吏裁判
所附官吏租稅官吏又ハ其他總テ法律官署ノ
命令裁判所ノ命令等ヲ執行スル為メ公務ノ
任ヲ受ケシ者ヲ毆撃シ又ハ暴行脅迫ヲ加ヘ

其命ニ抗スル時ハ之ヲ十日ヨリ少ナカラス
六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処ス可
シ○若シ又犯人兵器ヲ携フル時ハ六月ヨリ
少ナカラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ
刑ニ処ス可シ但シ此規則ト二十人以上群集
シテ右ノ罪ヲ犯シタル時第百九十一條ニ循ヒ
其犯人ヲ更ニ重キ刑ニ處ス可キ規則ト相觸
ル、丁ナカル可シ

○白耳義

第百六十九條 凡裁判所^{ラフヒシエ}附属ノ官吏^エ(代官人
代書人書記照憑人等ノ總稱)森守、田守、兵士、收
税官逮捕官吏、互市海口税官行政司法ノ警保

官吏及國法、官省ノ命令若クハ判決施行等ニ
暴行強迫ヲ以テ抗拒スル者ヲ稱シテ抗法ト
云フ

第百七十條 凡官ノ電信局官吏及ヒ官ノ電
信官吏ニ非スト、^{カキ}魚氏公報ニ任スル電信掛リ
等ニ暴行強迫ヲ以テ抗拒スル者モ亦抗法ト
云フ

第百七十一條 凡唯一人^ニ兇器ヲ持シ抗法ス
ル者ハ三月ヨリ二年マテノ獄ニ処ス可ク若
シ兇器ヲ持セサル者ハ八月ヨリ六月マテノ
獄ニ処ス可シ

第百七十二條 凡衆人共ニ謀豫シノ策畧ヲ
議シ抗法スル者ハ其兇器ヲ持スルハ監役持

セサルハ一年ヨリ五年マテノ獄ニ處ス可シ
若シ豫メ謀議セス衆人共ニ抗法スル者ハ其
兇番ヲ持スルハ一年ヨリ五年マテノ獄ニ處
ス可ク持セサルハ三月ヨリ二年マテノ獄ニ
處ス可シ

茅二百七十三條 凡兇徒兵卒ヲ聚メ抗法スル
者其黨中ニ職務ヲ行ハス鎮撫第一ノ令ヲ聞
キ黨ヲ脱シ若クハ示後黨衆外ニ捕ハラレ更
ニ抗拒スル無ケレハ茅百三十四條ノ罪ヲ科
ス可シ

茅二百七十四條 凡抗法律ニ依テ論シ罪獄ニ
談ル者ハ皆本刑ノ外尚ホ二十六「フ」ラニクヨ
リ二百「フ」ラニクマテノ罰金ヲ命ス可シ

抗法犯ノ首長及ヒ謀首ハ本刑ノ外尚ホ五年
ヨリ十年マテノ警察ヲ受ケシメ且ヲ茅三十
三條ノ奪權ニ處スル「フ」アリ

茅二百七十五條 以下此ノ要ニ騰寫ス「シ」

佛蘭西 沙カハノ部内ニ書込ハシ

佛蘭西

第二百二十二条

千八百六十三年第五
月十八日如九年換
政事又

ハ裁判等ニ管スル官吏ノ一人又ハ数人及ヒ
陪審ノ一人又ハ数人等ニ於テ其職務上ノ事
及ヒ其職務ヲ行フ時等ニ於テ陰ニ言語文書
又ハ畫圖等ヲ以テ己ノ名望、體面等ヲ辱カシ
ム可キ不敬ヲ受ケレ時ハ其不敬ヲ為タル者
ニ於テ十五日ヨリウカラス二年ヨリウカラ
サル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ
若シ其不敬ノ言語ヲ裁判所ニ於テ衆人ノ眼
前ニ唱ヘレ者ハ其犯人ニ於テ二年ヨリウカ
ラヌ五年ヨリウカラサル時間禁錮ノ刑ニ処

セラル可シ

第二百二十三條

十月十八日換 第三百六十年第五條 官吏及

と陪審等へ對シ其職務上ノ事及び其職務ヲ

行フ時等ニ於テ體勞及ヒ脅迫等ヲ以テ不敬

ヲ行ヒシ者ハ一月ヨリ少カラス六月ヨリ多

カラサル時間禁錮ノ刑ニ知セラル可シ若シ

裁判所ニ於テ衆人ノ眼前ニ其不敬ヲ行ヒシ

者ハ其犯人ニ於テ一月ヨリ少カラス二年ヨ

リ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ知セラル可シ

第二百二十四條

十月十八日換 第三百六十年第五條 言語體

勢及ヒ脅迫等ヲ以テ裁判所ノ命ヲ傳フル官

吏又ハ政府ノ兵事ニ管スル官吏及ヒ公務ノ

任ヲ受ケシ者等ニ對シ其職務上ノ事及び其

職務ヲ行フ時等ニ當リ不敬ヲ行ヒシ者ハ六

日ヨリ少カラス一月ヨリ多カラサル時間禁

錮ノ刑ニ知セラル且十六ヲランクヨリ少カ

ラス二百ヲランクヨリ多カラサル罰金ノ言

渡ヲ受ケ或ハ此刑中ノ一箇ノミノ言渡ヲ受

ク可シ

第二百二十五條

十月十八日換 第三百六十年第五條 政府ノ

兵ヲ指揮スル者ニ對シ前條ニ記シタル不敬

ヲ行ヒシ時ハ其犯人ニ於テ十五日ヨリ少カ

ラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處

セラル且十六ヲランクヨリ少カラス五百ヲ

ランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可

シ

第二百二十六條 第二百二十二條 第二百二十三條 第二百二十四條 第二百二十五條等ニ掲載シタル場合ニ於テハ其犯人ニ於テ禁錮ノ刑ヲ受ケル上更ニ不敬ヲ加ヘシ者ハ書面ヲ用ヒ又ハ刑ヲ受ケル後始テ相會シタル時ニ於テ其罪ヲ陳謝ス可シ但シ其犯人ノ禁錮ノ刑ニ処セラレ、ノ期限ハ其罪ヲ陳謝セシ日ヨリシテ算フ可シ

第二百二十七條 第二百二十四條ニ記シタル場合ニ於テハ其犯人ニ於テ前條ニ載ル所ニ均シク罰金ノ外更ニ其罪ヲ陳謝ス可キノ言渡ヲ受ク可シ若シ其犯人ニ於テ其罪ヲ陳謝スルコトヲ遅延シ又ハ肯セサル等ノ時ハ之ヲ

獄ニ繋ク可シ

第二百二十八條

千八百六十三年 第五兵器ヲ月十三日如大換フ

弄セス且毀傷ヲ為ス事ナシト虽氏裁判及ヒ政務等ニ管スル官吏ノ其職務上ノ事及ヒ其職務ヲ行フ時等ニ於テ之ヲ攻撃セシ者及ヒ其他同一ノ隠状ニ於テ其官吏ハ對シ暴行ノ所為ヲ為タル者等ハ二年ヨリツカラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラレ可シ
若シ又裁判所ニ於テ衆人ノ眼前ニ其暴行ノ所為ヲ為タル者ハ至重ノ禁錮ノ刑ニ処セラレ可シ
又此二箇ノ場合ニ於テハ其犯人ニ於テ其刑

ヲ受ケレ日ヨリシテ五年ヨリウカラス十年ヨリ多カラサル時間第四十二条ニ記シタル民権ヲ行フノ禁ヲ受ケ且同一ノ期限内政府ノ監察ヲ受ク可シ

第二百二十九条 前条ニ記シタル二箇ノ場合ニ於テハ其犯人ニ五年ヨリウカラス十年ヨリ多カラサル時間其攻撃シタル官吏ノ所在ノ地ノ周圍ニヨリヤメートルハ一ヤメハ一ハト我ニ尺ニ寸ニ對ルルノ所ニ近ツク可カラサルノ言渡ヲ為ス可シ

此規則ハ犯人ノ其刑ヲ受ケレ日ヨリシテ施行ス可シ若シ犯人ニ於テ其定期ノ終ラサル中此命ニ背ク時ハ追放ノ刑ニ処セラル可シ

第二百三十条 十月十八日如大換フ 第五百二

十八條ニ記シタル種類ノ暴行ノ所為ヲ裁判所ノ命ヲ傳フル官吏スハ政府ノ兵事ニ管スル者及ビ公務ノ任ヲ受ケレ者等ハ對シ其職務上ノ事及ビ其職務ヲ行フ時等ニ於テ犯セシ時ハ其犯人ニ於テ一月ヨリウカラス三年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ処セラレ且十六フランクヨリウカラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第二百三十一條 若シ第二百二十八條及ビ第二百三十條等ニ開載スル所ノ官吏ハ對シ犯シタル暴行ニ因リ其官吏ヲ斫傷折傷及ビ疾病ニ罹ラシムル等ノ原由ヲ為ス時ハ其犯人

ヲ徒刑場内ニ於テ駆役スルノ刑ニ処ス可シ
若シ其暴行ノ其官吏ヲシテ四十日間ニ死セ
シムルノ理由ヲ為ス時ハ其犯人ヲ無期ノ徒
刑ニ処ス可シ

第二百三十二條 其暴行ニ因リ砒傷折傷及ヒ
疾病等ヲ致スノ理由ヲ為サザル時ト虫反腹
ノ害ヲ為ントスルノ意ヲ以テ其官吏ヲ攻撃
セシ時ハ其犯人ヲ徒刑場内ニ於テ駆役スル
刑ニ処ス可シ

第二百三十三條 第二百二十八條及ヒ第二百
三十條等ニ掲載シタル長官又ハ官吏等ノ其
職務上ノ事又ハ其職務ヲ行フ時等ニ於テ殺
ス可キノ意ヲ以テ之ヲ段撃シ又ハ段傷シタ
ル者ハ死刑ニ処ス可シ

第二百三十五條 募兵ニ管スル刑法及ヒ其他ノ規則ハ舊ニ
依テ之ヲ施行ス可シ

第二百三十六條 證人又ハ陪審詐語ノ辭柄ヲ稱シ裁判所ニ
出席セサル時ハ其出席セサルニ因リ言渡サル可キ罰金
ノ外六日ヨリ少カラテ二月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ
處セラル可シ

○獨逸

第九十四條 獨逸帝ニ對シ暴行ヲ為シ又一國ノ臣民トシテ在獨逸國ニ其國主ニ對シ暴行ヲ為シ又何人ヲ論セス連邦ノ一國ニ在リテ其王侯ニ對シ暴行ヲ為シタル者ハ無期ノ徒刑又ハ無期ノ監禁ニ処シ其情狀輕キ時ハ五年ヨリ短カラサル徒刑又ハ其期ニ等シキ時間監禁ノ刑ニ処シ其餘公然ノ職務及ヒ公選ニヨリ任セラレタル権ヲ剥奪ス可シ

若シ酌量輕減アル時ハ五年ヨリ短カラサル監禁ニ処ス可シ

第九十五條 獨逸帝ニ對シ言語又ハ體不敬ヲ為シ又一國ノ臣民トシテ其國主ニ對シ言語又ハ

以體勢ヲ不敬ヲ為シ又何人ヲ論セス連邦ノ一國ニ在リテ其王族ニ對シ言語又ハ體勢ヲ以テ不敬ヲ為シタル者ハ二月ヨリ短カラサル禁獄ニ処スヘシ

其禁獄ノ外公然ノ職務及ヒ公選ニヨリ任セラレタル推ヲ剥奪ス可シ

第九十六條 一國ノ臣民トシテ在リテ其主族及ヒ其執政ニ對シ暴行ヲ為シタル者又ハ

何人ヲ論セス連邦ノ一國ニ在リテ其國ノ王族及ヒ侯族又ハ其執政ニ對シ暴行ヲ為シタル者ハ五年ヨリ短カラサル徒刑又ハ其期ニ

等シキ時間監禁ノ刑ニ処ス可シ

若シ酌量輕減アルトキハ一ケ年ヨリ五年ニ

至ル監禁ニ処ス可シ

第九十七條 一國ノ臣民トシテ在リテ其主族ニ又ハ其執政ニ對シ言語又ハ體勢ヲ以テ不敬ヲ為シタル者又ハ何人ヲ論セス連邦ノ一國ニ在

リテ其國ノ王族及ヒ侯族又ハ其執政ニ對シ言語又ハ體勢ヲ以テ不敬ヲ為シタル者ハ一月ヨリ三

年ニ至ル禁獄又ハ其期ニ等シキ時間監禁ノ刑ニ処ス可シ

第九十八條 第九十四條ニ載セタル場合ノ外

連邦ノ王族ニ對シ暴行ヲ為シタル者ハ二年

ヨリ十年ニ至ル徒刑又ハ其期ニ等シキ時間

監禁ノ刑ニ處ス可シ此條ハ王族ノ領地外ニテ不敬ヲ為シタルヲ云

以下准之

司去省

若シ酌量輕減アルトキハ六月ヨリ十年ニ至ル監禁ニ処ス可シ

第九十九條 第九十五條ニ載セタル場合ノ外

連邦ノ王族ニ對シ言語又ハ體勢ヲ以テ不敬ヲ為シタ

ル者ハ一月ヨリ三年ニ至ル徒刑又ハ其期ニ

等シキ時間監禁ノ刑ニ処ス可シ

其不敬ヲ受ケタル人ノ許可アルニ非ラサレ

ハ其罪ヲ論ス可カラズ

第一百條 第九十六條ニ載セタル場合ノ外連邦

ノ王族及ヒ侯族又ハ其執政ニ對シ暴行ヲ為

シタル者ハ五年ヨリ長カラサル徒刑又ハ其

期ニ等シキ時間監禁ノ刑ニ処ス可シ

若シ酌量輕減アル片ハ一月ヨリ三年ニ至ル

監禁ニ處ス可シ

第一百一條 第九十七條ニ載セタル場合ノ外連

邦諸國ノ王族及ヒ侯族又ハ其執政ニ對シ言語

又ハ體勢不敬ヲ為シタル者ハ一週日ヨリ二

年ニ至ル禁獄又ハ其期ニ等シキ時間監禁ノ

刑ニ処ス可シ

其不敬ヲ受ケタル人ノ許可アルニ非ラサレ

ハ其罪ヲ論ス可ラス

第一百十三條 法律ノ施行又ハ行政官廳ノ命令

ノ施行又ハ裁判所ノ刑名宣告書ノ施行ヲ司

リタル官吏ノ正當ノ職務ヲ行フニ對シ暴行

又ハ暴行ヲ加ヘシト恐嚇シテ抗拒スル者又

第九十四條ノ前ニ
付クヘシ

刑

其官吏ノ正當ノ職務ヲ行フニ對シ暴行ヲ為シタル者ハ二年ヨリ長カラサル禁獄又ハ五百タールレヨリ多カラサル罰金ニ処ス可シ

若シ正當ノ職ヲ行フ官吏ヲ輔佐スル人負又常備兵及ヒ郷保兵ニ屬シタル者ノ職務ヲ行フニ當リ其人ニ對シ其罪ヲ犯シタル者ハ前同刑ニ処ス可シ

白耳義

第二百七十五條

凡立法官員司法行政ノ宰相及ヒ長官等ノ職務ヲ理スルニ當リ行事言語体姿若クハ脅迫ヲ以テ不敬ヲ為ス者ハ十五日ヨリ六月マテノ獄ニ処シ五十「フランク」ヨリ三百「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

若シ院中會議ノ席或ハ裁判所聽訟ノ席ニ不敬ヲ為ス者ハ二月ヨリ二年マテノ獄ニ処シ二百「フランク」ヨリ一千「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

若シ兩院議官ニ不敬ヲ加フル者ハ現行犯ノ外ハ其不敬ヲ受ル議官若クハ其院ヨリ告訴スルニ非レハ刑ニ処セス

第二百七十六條 凡行新体姿言語脅迫等ヲ以テ裁判ノ命ヲ傳フル官吏及文武官負其他諸官吏ノ職務ヲ理スルニ當リ不敬ヲ加フル者ハ八月ヨリ一月マテノ獄ニ処シ二十六「フラシクヨリ二百「フラシクマテノ罰金ヲ命ス可シ

第二百七十七條 凡官省察司等ニ不敬ヲ加フル者ハ其官省察司等ノ官吏ニ不敬ヲ加フル者ト罪同シ但前二条ノ區別ニ後ニ罪ヲ科ス可シ

第二百七十八條 凡兩院議官宰相及裁判長官ヲ其職務奉行ノ際ニ改ツ者ハ二月ヨリ二年マテノ獄ニ処シ五十「フラシクマテノ罰金ヲ命ス可シ

命ス可シ

若シ院中會議ノ席或ハ聽訟所ニ於テ改ツ者ハ三月ヨリ三年マテノ獄ニ処シ二百「フラシクヨリ一千「フラシクマテノ罰金ヲ命ス可シ

第二百七十九條 凡改傷シ出血若クハ疾病ノ原因トナル者ハ六月ヨリ五年マテノ獄ニ処シ二百「フラシクヨリ一千五百「フラシクマテノ罰金ヲ命ス可シ

第二百八十條 凡裁判所ノ命ヲ傳フル官吏全權官吏及其他諸官吏ヲ職務奉行ノ際ニ改ツ者ハ一月ヨリ二年マテノ獄ニ処シ五十「フラシクヨリ三百「フラシクマテノ罰金ヲ命ス可シ

第二百八十一條 凡改傷シ出血若クハ疾病ノ原因トナル者ハ三月ヨリ二年マテノ獄ニ処シ一百フランクヨリ五百フランクマテノ罰金ヲ命ス可シ

第二百八十二條 凡陪審及証人ニ不敬ヲ加ヘ若クハ改ツ者ハ第百七十五條第百七十八條及第百七十九條ニ依テ論シ罪ヲ科ス可シ

○佛蘭西
第二百九 兇行ヲ為ス者集合スル罪

第二百六十五條 人ノ身體及ヒ財產等へ對シ兇行ヲ為ス者ノ群眾ヲ為スニ於テハ國ノ安寧へ對シ犯ミタル重罪ナリトス

第二百六十六條 兇行ヲ為ス者ヲシテ群眾セシメ又ハ其群眾セシ者及ヒ其首謀或ハ其指揮者等ノ互ニ交通ヲ為シ又ハ兇行ヲ以テ得タル利益ヲ算計シ及ヒ分配セント為ス契約ヲ為タル等ノ事アル時ハ其所行ノミヲ以テ國ノ安寧ヲ妨クル重罪ナリト云フ可シ

第二百六十七條 前條ニ記シタル重罪外ニ於テ他ノ重罪ヲ同時又ハ相繼テ行フ事ナキ時

ハ其群衆中ノ首謀、指揮者、首魁、下等指揮者等
ニ於テ有期ノ徒刑ニ處セラレ可シ
第百六十八條 此群衆中ニ於テ或ル職務ヲ
行ヒシ者又ハ故サラニ自己ノ意ヲ以テ其群
衆ノ徒ヘ兵器、彈藥及ヒ重罪ノ犯ヲ行フ可キ
器具及ヒ居所、隱匿ノ地、集會所等ヲ貸與ヘシ
者等ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラ
ル可シ

○ 獨逸

第百二十三條 他人ニ屬スル住所、職業場園内
又公役ノタメニ設ケタル場所ヲ非理ニ襲フ
タル者又故ナク其内ニ入りタルニ因リ其權
アル人家主地主及ヨリ其地ヲ離散スヘク催
スト雖氏離散セサル者ハ人家ヲ害スルノ罪
トナシ三月ヨリ長カラサル禁獄又百タール
ルヨリ多カラサル罰金ニ処ス可シ
訴テ待ツテ其罪ヲ論ス
若シ兵器ヲ持シ且多人數ニテ其罪ヲ犯シタ
ル時ハ一週日ヨリ二年ニ至ル禁獄ニ処ス可
シ

第百二十四條 人ノ身體物件ニ害ヲ爲サシタ

メ多人數公然ト徒黨ヲ為シ且多勢ニテ非理
ニ人ノ住所職業場園内及ヒ公役ニ設ケタル
場所ニ襲入シタル時其事ニ組シタル者ハ皆
一月ヨリ二年ニ至ル禁獄ニ処ス可シ

第百二十五條 人ノ身體及ヒ物件ニ害ヲ為サ
シメメ多人數公然ト徒黨ヲ為シ且多勢ニテ
暴行ヲ為シタル并其徒黨ニ組シタル者ハ皆
人民一般ノ安寧ヲ害スルノ罪トナシ三月ヨ
リ短カラサル禁獄ニ処スヘシ

徒黨ノ首及ヒ人ノ身體物件ニ對シ暴行ヲ為
シ

又其物件ヲ掠奪破毀シタル者ハ十年ヨリ長
カラサル徒刑ニ処シ其餘政府ノ監察ニ付ス

可シ
若シ酌量輕減アル時ハ六月ヨリ短カラサル
禁獄ニ処ス可シ

第百二十七條 官ノ許可ナキ軍隊ヲ編制シ又
ハ指揮シ又ハ官ノ許可ナク集會シタル軍隊
ナルヲ知テ兵器并ニ彈藥ヲ供シタル者ハ二
年ヨリ長カラサル禁獄ニ処ス可シ
其集會シタル軍隊ニ組シタル者ハ一年ヨリ
長カラサル禁獄ニ処ス可シ

第百二十八條 事ノ成立及ヒ其編制目的等ノ
機密ニ渡ツタル會合ニ組シ又其現ニ知ラサ
ル長ニ從順セント約シ又其知レタル長ニ全
ク從順セント約シタル時其會合ニ組シタル

者ハ六月ヨリ長カラサル禁獄其働業及ヒ其
長ハ一月ヨリ一年ニ至ル禁獄ニ処ス可シ
若シ官吏其會合ニ組シタルハ禁獄ノ外一
年ヨリ五年ニ至ル時聞公然タル職務ヲ行フ
ヲ得サルノ言渡ヲナスヲ得可シ

○白耳義

人身又ハ財産ヲ犯ス結黨刑

第三百二十二條 凡或ハ財産ヲ犯セントスル
結黨ヲ重罪若クハ輕罪トシ其黨已ニ成ル者
ハ此法ニ依テ論ス可シ

第三百二十三條 凡結黨死刑及懲役ニ決ルノ
罪ヲ犯サントスルニ於ル其造意者首長及指
揮ヲ為ス者ハ皆監役ニ處ス可シ
若シ以上二刑外ノ重罪ヲ犯サントスル結黨
ニ於ル其造意者首長指揮者ハ皆二年ヨリ三
年マテノ獄ニ処ス可シ

第三百二十四條 凡結黨ニ加ル者及情ヲ知テ
故ラニ兵器糧食器械宿所逃所及集會所ヲ給

スル者ハ

第一結黨ニ於テハ六月ヨリ五年マテノ獄ニ
処ス可レ

第二結黨ニ於テハ二月ヨリ三年マテノ獄ニ
処ス可レ

第三結黨ニ於テハ一月ヨリ二年マテノ獄ニ
処ス可レ

第三百二十五條 凡第三百二十三條及第三百
二十四條ノ犯人ニシテ獄ニ訣ル者ハ本刑ノ

外尚ホ第三十三條ノ奪権ニ處レ且五年ヨリ
十年マテノ警察ヲ受ケレムル丁アリ

第三百二十六條 凡以上結黨中ノ者未タ重軽
罪ヲ行ハス又官ノ追捕ヲ待タス自首シ其首

長若クハ副役ノ姓名ヲ告ケル者ハ放免ス可
レ

但此ノ如キ者ハ時アリ警察ヲ受ケレム其期
五年ヲ過ク可カラス

○伊吉利西 ○伊吉利西

聚衆行兇

凡衆二人以上ヲ聚メ重罪ヲ企ントスル者ヲ除ク外其餘人民ノ損害ヲ企ム者ハ輕罪ニ坐シ贖罪及ニ入獄ニ処シ若クハ若役ヲ加フ
其他ノ人ノ重罪ヲ犯シ之ヲ捕獲セン為メニ聚ラ聚ル者ハ此限ニ非ラス
若シ衆ヲ聚メ因テ人ヲ誣告スル者ハ告ケラル、者ノ欲スル所ニ從テ訴訟裁判所ニテ償金ヲ出サシメ又タ刑法裁判所ニ於テ其罪ヲ罰スルヲ得ヘシ
若シ二人以上ヲ聚メ人ヲ殺サント欲シ或ハ之ヲ教唆助力スル者ハ並ニ輕罪ニ坐シ五年ヨリ

十年ニ止ル徒罪ニ処シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ
処シ若クハ若役ヲ加フ 聚衆行兇 以下モ同シ

平匠人聚衆

凡工匠人衆ヲ聚メ雇工賃銭ヲ増加セシト欲シ
因テ人ヲ侵撃スル者ハ輕罪ニ坐シ二年ニ止ル
入獄ニ処シ若クハ若役ヲ加フ

聚衆擧意

凡衆計二人以上ヲ聚メ發遣シ官吏ノ離散セシ
ト説諭スルヲ輕慢シ一時間後ニ至リテ仍ホ駭
囂スル者ハ重罪ニ坐シ五年ヨリ終身ノ徒罪ニ
処シ或ハ二年ニ止ル入獄ニ処シ若クハ若役及
シ監牢ヲ加フ

若シ十二人以下ノ者ハ贖罪及ビ入獄ニ処シ此

律ニアラス

若シ因テ寺院房屋製造所等ヲ崩壊スル者ハ五
年ヨリ終身ノ徒罪ニ処シ或ハ二年ニ止ル入獄
ニ処シ若クハ若役ヲ加フ其一区内ヨリ償金ヲ
聚テ事主ニ付與ス但夕崩壊スル後七日内ニ於
テ事主自ラ裁判所ニ行キ盟ヲ為シテ罪犯ヲ申
告シ必ス之ヲ処断セシトヲ要ス如シ未夕全ク
崩壊セスト虽モ亦同シ

第三十

建國ノ法ヲ害スル重罪及ヒ輕罪

民權ヲ行フニ管係シタル重罪及ヒ

輕罪

佛蘭西

國名ハ六カ月ヨリ
徳ニシテ以テ向シ

第百九條 噪聚暴行脅迫等ヲ爲シ一人又ハ數

人ノ民權ヲ行フヲ妨ケタル時ハ其犯者ノ各

人ニ於テ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラ

サル時間禁錮ノ刑ヲ受ケ且五年ヨリ少カラ

ス十年ヨリ多カラサル時間議員ヲ選舉シ及

ヒ議員ニ選舉ヲ得ルノ權ヲ行フノ禁ヲ受ク

可シ

第百十條 若シ此重罪ノ犯ヲ全國中又ハ一州

數州又ハ一郡數郡等ニ於テ行ハント協議シ

タル計謀ヲ以テ為タル時ハ追放ノ刑ニ處ス可シ

第百十一條 議員請射ノ時衆人ノ請射ノ簽數ヲ計算スル任ヲ受シ者ニ於テ其請射ノ簽ヲ偽造シ又ハ請射ノ簽中ヲ増減シ又ハ文字ヲ識サル選舉人ノ請射ノ簽ニ其指示サ、ル姓名ヲ填寫シタル時ハ民權利奪ノ刑ニ處セラ

第百十二條 前條ニ記スル所行ヲ為タル者ノ若シ其簽數ヲ計算スルノ任ヲ受シ者ニ非サル時ハ六月ヨリ少カラス二年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ヲ受ケ且五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間議員ヲ選舉シ及ヒ議員ニ選舉ヲ得ルノ權ヲ行フノ禁ヲ受ク可シ

第百十三條 議員選舉ノ時賄賂ヲ用ヒテ請射ヲ得又ハ賄賂ヲ得テ請射ヲ為タル者等ハ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間民權ヲ行フノ禁ヲ受ケ且公務ヲ行フ可ラサルノ禁ヲ受ク可シ

且賄賂ヲ用ヒテ請射ヲ得又ハ賄賂ヲ得テ請射ヲ為タル者等ハ各其授受ノ賄賂ニ二倍シタル罰金ヲ償フ可シ

○ 獨逸

第百五條 連邦中ノ共和府ノ上院又其民選議院又獨逸國及ニ連邦諸國ノ立法議院ヲ強制ラ以テ乱タサント企タル者又ハ強迫シテ決議セシメ又ハ其決議ヲ廢止セシメ又ハ議院ヨリ議官ヲ放逐セシメント企テタル者ハ五年ヨリ短カラサル徒刑又ハ其期ニ等シキ時間監禁ノ刑ニ処ス可シ
若シ酌量軽減アル片ハ一年ヨリ短カラサル監禁ニ処ス可シ

第百六條 前條ノ諸議院ノ議官ヲ暴行又ハ害ヲ加ヘント恐嚇シ其議院ニ出ルヲ妨ケ又ハ投票ヲ妨ケタル者ハ五年ヨリ短カラサル徒

刑又ハ其期ニ守レキ時間監禁ノ刑ニ知ス可
シ
若シ酌量軽減アル時ハ二年ヨリ短カラサル
監禁ニ知ス可シ
第百七條 獨逸人ヲ暴行スハ害ヲ加ヘント恐
嚇シ其議官ヲ選挙シ又ハ之レヲ投票スルノ
權ヲ妨ケタル者ハ六月ヨリ短カラサル禁獄
又ハ五年ヨリ長カラサル監禁ニ知ス可シ
此事ヲ行ハント企テタル者モ刑ニ知ス可シ
第百八條 公然タル選挙ニ於テ選挙人ノ表又
ハ投票又ハ之レニ換ルヘキ記号ヲ集メ又其
調書ヲ記録スルノ任ヲ受ケタル者故ラニ投
票ヲ不正ニ為シ又当票ヲ偽造シタル者ハ一

週日ヨリ三年ニ至ル禁獄ニ處スハレ
投票及ヒ其記号ヲ集ハルノ任ヲ受ケサル人
又ハ選挙ノ時職務ヲ蒙ラサル人ニテ其元業
ヲ為レタル者ハ二年ヨリ長カラサル禁獄ニ
知ス可シ其餘公権剥奪スル丁ヲ得可シ
第百九條 公然ノ事ニ於テ選挙ノ投票ヲ賣買
シタル者ハ一月ヨリ二年ニ至ル禁獄ニ知シ
又公権ヲ剥奪スル丁ヲ得ハレ

○白耳義

公權ヲ妨クル輕罪刑

第百三十七條 凡ソ群聚強暴脅迫ヲ以テ國人ノ政權ヲ妨クル者ハ十五日ヨリ一年マテノ獄ニ処レ二十六「フランク」ヨリ一千「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ

第百三十八條 凡ソ議員撰擧ノ闖敷計算ニ任スル者或ハ闖表ニ他ノ姓名ヲ加ヘ若クハ除キ或ハ他ノ姓名ヲ讀ミ奸曲ヲ為ス者等ハ三月ヨリ二年マテノ獄ニ処レ且ツ五十「フランク」ヨリ二千「フランク」マテノ罰金ヲ命ス可シ
第百三十九條 凡ソ議負選舉ノ時ニ當リ英計若クハ強暴ニ依テ投票セレメ或ハ他ノ姓名

ニ交換スル者

撰挙日投票ノ席ニ於テ選舉人ノ知ル無キヲ
誅リ闔表ニ他ノ人名ヲ書スル者

選舉人ノ不参ヲ窺ヒ代テ投票スル者等ハ皆

一月ヨリ一年マテノ獄ニ處レ且ツ二十六「フ

ランクヨリ一千「フランクマテノ罰金ヲ命ス

可レ

第百四十條

凡ソ議員撰挙ニ於テ投票ヲ賣買

スル者ハ五十「フランクヨリ五百「フランクマ

テノ罰金ヲ命ス可レ

第百四十一條

凡ソ百三十八條及百三十九條

ノ法ヲ犯ス者ハ本刑ノ他尚ホ選舉ノ權ヲ剥

奪スル五年ヨリ十年マテタル可レ

英吉利

冒名選舉議員

凡議員ヲ選舉スルニ他人ノ姓名ヲ詐称シテ人

ヲ投選スル者ハ輕罪ニ坐シ二年ニ過サル入獄

ニ処シ若クハ苦役ヲ加フ

第三十一

官吏人民ノ私權ヲ害シ其官吏擅權及官吏其職務ヲ行フヲ皆ヤル罪 前例ニ準ズ

○佛蘭西

第百十四條 長官及ヒ官吏又ハ政府ヨリ委任
ヲ受ケシ者等ニ於テ各人ノ自主ニ對シ又ハ
一人及ヒ數人ノ民權ニ對シ又ハ建國ノ法ニ
對シテ枉撓ノ所為又ハ患害トナルベキ所為
等ヲ命レ及ヒ行ヒシ時ハ民權剝奪ノ刑ニ處
セララル可シ

然レ命ヲ奉ス可キ長官ノ管領スル條件ニツ
キ其長官ノ命ニ因リ眾ヲ犯シタルノ確證ア
ル時ハ其犯者ノ刑ヲ赦宥シテ命ヲ與ヘタル
長官ノミヲ其刑ニ處ス可シ

第百十五條 前條ニ記載シタル所為ノ一箇又

ハ數箇ヲ命シ及ヒ行フタル執政ノ佛蘭西共和政事立國第十二年ヲロレアル月第二十八日ノ議院決定書ノ第六十三條及ヒ第六十七條ニ定メタル儆戒ノ後猶其決定書中ニ記スル所ノ定期中其所為ヲ改ムルヲ肯セス及ヒ怠リシ時ハ追放ノ刑ニ處セラル可シ

第百十六條 建國ノ法ニ背及シタル所為ヲ命シ又ハ許シタルノ眾ヲ犯セシト云フ據證ヲ受シ執政ニ於テ若シ其書上ノ調印ノ他人ノ偽計ニ出シト言フ時ハ其背及ノ所行ヲ改止セシ時ニ於テ其執政ヨリ偽計ヲ為タル者ハ對シ必ス訴訟ヲ陳述ス可シ然ラサレハ已レニ於テ其訴訟ヲ受ク可シ

第百十七條 第百十四條ニ記シタル暴行ニツキ言渡ス可キ追償ハ刑法及ヒ民法等ノ方法ニ循ヒ之ヲ訟告シ其人位階ト其時ノ景況及ヒ損害トニ准シテ規則ヲ定ム可シ但シ其償額ハ何レノ場合ニ於テモ又ハ其損害ヲ受シ者何レノ位階ノ人ニ於テモ其各人ノ枉ニ禁錮ヲ受シ日毎ニ二十五ブランクヨリ少キナナル可シ

第百十八條 執政及ヒ其他ノ長官等ノ姓名ヲ偽署シテ國法ニ背及シタル所行ヲ為シ時ハ其偽署ヲ為シタル者及ヒ故ラニ其偽署シタル書ヲ用ヒタル者等ニ於テ有期ノ至重ノ徒刑ニ處セラル可シ

第百十九條 政令及ヒ裁判等ニ管スル取締向
ノ任ヲ受シ官吏ノ犯人ヲ禁錮スル厩舎又ハ
其他ノ場所等ニ於テ法律ニ背キ枉ニ人ヲ禁
錮セシフヲ證ス可キ為メ呈訴シタル者アル
時若シ其訟ヲ聽クフヲ肯セス又ハ其事ニ怠
リ及ヒ其呈訴セシフヲ長官ハ告白シタルノ
證ナキ者等ニ於テハ民権剥奪ノ刑ニ處シ且
第百十七條ニ記シタル所ノ償額ヲ出サシム
可シ

第百二十條 獄舎徒刑場及ヒ其他人民ヲ禁錮
ス可キ厩舎等ノ看守人門監等ニ於テ禁錮ノ
命及ヒ裁判ノ言渡又ハ政府ノ假ノ命等ナク
シテ犯人ヲ其中ニ收受セシ者又ハアロモリ

ウル、アムペリアル裁判所ニ於テ訴及ヒ裁判
取扱フ官吏及ヒ裁判
役等ノ禁ヲ用ヒスシテ犯人ヲ剋留セシ者又
ハ犯人ヲ取締ノ官吏及ヒ其官吏ノ命ヲ受ケ
シ者等ニ面セシムルフヲ許諾セサル者又ハ
取締ノ官吏ハ厩舎中ニアル犯人ノ姓名簿ヲ
示視スル事ヲ肯セサル者等ハ人ヲ枉ニ禁錮
セシ眾アル者ト為シ六月ヨリ少カラス二年
ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處シ且十六
フランクヨリ少カラス二百フランクヨリ多
カラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可シ

第百二十一條 裁判取締ノ官吏又ハアロモリ
ウル、ゼ子ラルアロモリウ
長官アロモリウ
ハ、アムペリアル及ヒ其代人又ハ裁判役等ノ

國法ニ於テ定メタル允許ナクシテ執政又ハ
上院下院及ヒ議政等ノ官員ヘ對シ訴訟又ハ
其罪ノ上告等ヲ為サントスル裁判書命令書
等ヲ記シ及ヒ給與シ又ハ其書ニ調印ヲ為シ
タル者又ハ目下現行ノ輕罪犯衆論鼎沸ノ場
合等ノ外ニ於テ國法ニ於テ定メタル允許ナ
クシテ執政又ハ上院下院及ヒ議政等ノ官員
ノ一人又ハ數人ヲ逮捕ス可キ命令書ヲ給與
シ及ヒ其書ニ調印ヲ為タル者等ハ其職務ヲ
冒瀆スルノ罪アリト為シ民權利奪ノ刑ニ處
セラル可シ

第百二十二條 プロモトリウル、ゼ子ラル又ハア
ロモリウル、アムペリアル及ヒ其代人又ハ裁
判役及ヒ其他ノ官吏等ノ政府又ハ官署ニ於
テ定メタル場所外ニ於テ人ヲ禁錮シ及ヒ禁
錮セシメタル者又ハ人ニ對シ預メ法律ニ循
ヒ訴訟ヲ為スナク直チニ其人ヲ其上等裁
判所ヘ呼出セシ者等ハ亦民權利奪ノ刑ニ處
セラル可シ

官吏擅權

平民ノ對シ權ヲ擅ニスル事

第百八十四條 政務又ハ裁判等ノ事ヲ掌ル長
官及ヒ其他裁判取締ニ管スル官吏又ハ兵ノ
指揮官及ヒ其代人等ノ其職務ニ因リ法律ニ
定メタル場合外ニ於テ且法律ニテ定メタル
規式ヲ守ル丁ナク士民ノ意ニ逆ヒ強テ其屋

内ニ入レ者ハ六日ヨリ少カラス一年ヨリ多
カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且十六フ
ランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多カ
ラサル罰金ノ言渡ヲ受ク可レ但レ此條中ニ
記載スル所ト第百十四條ノ二項ニ記スル所
ト相抵觸スル丁ナカル可レ
脅迫暴行等ヲ以テ士民ノ家ニ入レ者ハ六日
ヨリ少カラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮
ノ刑ニ處セラレ且十六フランクヨリ少カラ
ス二百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡
ヲ受ク可レ
第百八十五條 裁判役及ヒ政務ニ管スル者等
ニ於テ或ハ糾弊ヲ唱ヘ或ハ法律上ノ定則ナ

ク及ヒ法律上ノ疑似等ヲ以テ口實ト為レ裁
判ヲ請フ者アリト雖凡其裁判ヲ為スヲ肯セ
ス且其上等官吏ノ譴責又ハ其命令等ヲ受ケ
レ後ニ於テ猶固執シテ其裁判ヲ為サル者ハ
其訴訟ヲ受ケ二百フランクヨリ少カラス五
百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受
ケ且五年ヨリ少カラス二十年ヨリ多カラサル
時間公務ヲ行フノ禁ヲ受ク可レ
第百八十六條 長官及ヒ官吏又ハ政務ニ管ス
ル者又ハ政府ノ小吏及ヒ取締ノ小吏又ハ裁
判執行ノ命ヲ受ケレ者又ハ兵ノ督師及ヒ其
所属ノ士官等ニ於テ其職務ヲ行フニ當リニ
レキ事由ナク人ノ身體ニ對シテ暴行ヲ加ヘ

又ハ加ハレメタル者ハ其暴行ノ種類ト輕重トニ因リ第百九十八條ニ記スル所ノ規則ニ循ヒ其刑ヲ峻重ニ為シテ罰ス可シ

第百八十七條 政府ノ長官及ヒ官吏又ハ驛遞ノ長官及ヒ官吏等ニ於テ逸送ノ文書ヲ故ニ遺失シ又ハ發封シ及ヒ發封ノ事ヲ助ケシ者ハ十六フランクヨリ少カラス五百フランクヨリ多カラサル罰金ノ言渡ヲ受ケ且三月ヨリ少カラス五年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ可シ但シ其犯人ハ五年ヨリ少カラス十年ヨリ多カラサル時間諸般ノ職務ヲ行フノ禁ヲ受ク可シ

公然ノ事ニ對シテ推ヲ擅ニスル事

第百八十八條 政府ノ長官及ヒ官吏又ハ小吏等ニ於テ何レノ位階ヲ論ヒス國法ヲ施行スル事又ハ当然ノ租稅ヲ收納スル事又ハ裁判所ノ命令及ヒ其他当然ノ權威アル者ヨリ出シタル命令等ヲ行フ事等ニ背キテ兵ヲ動シ又ハ用フル等ノ事ヲ求メ及ヒ命レタル者又ハ兵ヲ動シ及ヒ用フル等ノ事ヲ求メレメ及ヒ命セレメタル者等ハ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラレ可シ

第百八十九條 前條ニ記セシ如ク兵ヲ動シ又ハ用フル等ノ事ヲ求メ又ハ命レタルニ因リ現ニ其兇行ヲ行ヒレ者ハ至重ノ徒刑場内ニ於テ驅役スル刑ニ處セラレ可シ

第百九十條 上等官吏ノ職掌ニ管スル事ニツ
キ其所属ノ官吏及ヒ小吏等へ前條ニ記シタ
ル罪犯ヲ行フ可キノ命ヲ為シ其官吏及ヒ小
吏等ノ此命ニ因テ其罪ヲ犯セシ時ハ第百八
十八條及ヒ第百八十九條等ニ記シタル刑ヲ
以テ其官吏及ヒ小吏等ヲ處ス可カラズ此命
ヲ下シタル其上等官吏ヲ其刑ニ處ス可シ
第百九十一條 前條ニ記シタル事ヲ命シ又ハ
求メタルニ因リ第百八十八條及ヒ第百八十
九條等ニ記シタル刑ヨリ更ニ重刑ヲ以テ罰
ス可キ重罪ヲ犯シタル事アル時ハ其命ヲ下
シ又ハ其事ヲ求メタル長官及ヒ官吏又ハ小
吏等ヲ其重刑ニ處ス可シ

官吏其職務ヲ行フヲ肯セサル事

第百三十四條 政府ノ兵ヲ指揮スル者又ハ
其士官及ヒ下等士官等ニ於テ文員ノ官吏ヨ
リ當然ノ求需ヲ受シ後自己ノ指揮スル兵ヲ
使令スル事ヲ肯セサル者ハ一月ヨリ少カ
ラス三月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セラル可シ但シ此條ニ記シタル規則ト第十
條ニ記シタル償還ノ規則ト相抵觸スル事ナ
カル可シ

第百三十五條 募兵ニ管スル刑法及ヒ其他

ノ規則等ニ依テ遵守ス可シ

第百三十六條 保證人及ヒ陪審等ニ於テ詐
偽ノ分明ナル辭筆ヲ稱シ裁判所へ出張セテ

ル時ハ其出飛セサルニ因リ言渡ヲ受ク可キ
罰金ノ外七日ヨリ一月カラス二月ヨリ多カラ
サル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可シ

獨逸

第三百三十六條 官吏又ハ協議官自ラ鞠問及
ヒ決斷スハキ訴訟ニ付雙方ノ者ノ一方ヲ曲
庇シ又ハ之レヲ損害セシメン為メ故ラニ枉
法ノ罪ヲ犯シタル者ハ皆五年ヨリ長カラサ
ル徒刑ニ處ス可シ

第三百三十九條 官吏權ヲ擅ニシ又權威ヲ以
テ恐嚇シ強ヒテ人ヲシテ事ヲ為サシメント
シ又之レヲ止メシメントシ又之レヲ肯ンセ
シメントシタル者ハ禁獄ニ處ス可シ
之レヲ犯ントセシ所業モ又罰ス可シ

第百六條 第百七條 第百六十七條ニ記列シタル場
合ニ於テ官吏暴行脅迫ナレト雖モ權威ヲ擅

ニシ又ハ權威ヲ以テ恐嚇シ事ヲ犯シタル片
ハ其條中ニ掲載シタル刑ニ処シ若シ酌量輕
減アル片ハ三月ヨリ短カラサル禁獄ニ處ス
ハシ

第三百四十條 官吏職務ヲ行フ片又ハ之レヲ
行ハントスルニ當リ故ラニ他人ノ身體ヲ傷
シ又ハ人ヲシテ傷セシメタル者ハ皆三月ヨ
リ短カラサル禁獄ニ處シ若シ酌量輕減アル
片ハ一日ノ入牢ニ減少シ又ハ三百タール
ヨリ多カラサル罰金ニ処スルヲ得可シ
若シ重傷ナレハ二年ヨリ短カラサル徒刑ニ
処シ若シ酌量輕減アル片ハ三月ヨリ短カラ
サル禁獄ニ処ス可シ

第三百四十一條 官吏故ラニ又ハ其權ナクシ
テ拿捕縛拘留引致狀ノ施行ヲ取扱ヒ又ハ
人ヲシテ之レヲ取扱ハシメ又ハ故ラニ又ハ
許可ナクシテ其拘留ノ時間ヲ長メタル者ハ
二百三十九條ニ掲載スル所刑ニ処ス然レモ
三月ノ禁獄ヨリ減少スヘカラス

第三百四十二條 官吏其職務ヲ行フ片又ハ之
レヲ行ハントスルニ當リ妄リニ人ノ住所ニ
侵入シタル片ハ(百二十三條)一年ヨリ長カラ
サル禁獄又ハ三百タールヨリ多カラサル
罰金ニ処ス可シ

第三百四十三條 鞫問中強テ招服又ハ陳述ヲ
ナサシムル為メ強逼ノ方法ヲ用ヒ或ハ之レ

ヲ用ヒシメタル官吏ハ五年ヨリ長カラサル
徒刑ニ処ス可シ

第三百四十四條 官吏人ノ無罪ト知り故ラニ
其人ニ對シ鞠問ヲ開キ或ハ之レヲ繼續セシ
ムルヲ求メ又ハ之レヲ命シタルモノハ徒
刑ニ処ス可シ

第三百四十五條 処決ノ刑ヲ犯人ニ施行スル
ト能ハサルヲ知り故ラニ其刑ヲ行ハシメ又
ハ其刑名刑期トモ宣告シタルニ異ナリタル
刑ヲ犯人ニ受ケシメタル官吏ハ同刑ニ処ス
可シ

若シ展忽懈怠ニヨリ之レヲ為シタルハ一
年ヨリ長カラサル禁獄又ハ監禁又ハ三百タ
ーレルヨリ多カラサル罰金ニ處スヘシ

第三百四十六條 職務上ニ於テ輕重罪ヲ訴ヘ
又ハ其刑ノ施行ヲ司リタル官吏若シ人ヲシ
テ法律ノ條章ニ記シタル刑ヲ故ラニ逃レシ
メントスルノ意ニテ其犯罪ヲ訴ヘス又ハ犯
人ヲ法律ニヨラサル放免或ハ処決ヲナシ又
ハ處決ノ刑ヲ行ハシメス或ハ處決ノ刑ヨリ
輕キ刑ヲ犯人ニ受ケシメタルハ五年ヨリ
長カラサル徒刑ニ処ス可シ

若シ酌量輕減アルハ一月ヨリ短カラサル
禁獄ニ処ス可シ

第三百四十七條 官吏自カラ省守護送照管ス
ハク委托サレタル囚人ヲ故ラニ逃込セシメ

又ハ其逃亡ヲ取扱ヒ又ハ之レヲ得セシメタル者ハ五年ヨリ長カラサル禁獄ニ処シ若シ酌量軽減アル片ハ一月ヨリ短カラサル禁獄ニ処ス可シ

若シ展忽懈怠ニヨリテ其逃亡ヲ得セシメ又ハ容易ナラシメタル片ハ六月ヨリ短カラサル禁獄或ハ二百ターレルニ至ル罰金ニ処ス可シ

第三百四十八條 官ノ文書ヲ認ムヘキ許可ヲ得タル官吏其課務ヲ行フ片故ラニ虚偽ヲ以テ記載シ又ハ番号簿官ノ簿冊ニ故ラニ虚偽ヲ以テ登記シタル者ハ一月ヨリ短カラサル禁獄ニ処ス

若シ官吏委託ヲ受タル文書又ハ其職務ニヨリ其権内ニアル文書ヲ故ラニ破毀亡失又ハ之レヲ損壞シタル片ハ同刑ニ處ス可シ

第三百五十四條 法律ニ定メタル場合ノ外郵便取扱官吏其郵便役所ニ委託サレタル片又ハ包ヲ開キ又ハ之レヲ毀棄シ又ハ人ノ物タルヲ知リテ故ラニ他人ニ聴ルシテ其事ヲ洩ラサレメ又ハ故ラニ之レヲ補助シタル者ハ三月ヨリ短カラサル禁獄ニ処ス可シ

第三百五十五條 人民一般使用ノ為メニ設ケタル電信取扱ノ官吏又ハ電信役所ノ監察及ヒ其事務ニ関シタル者其電信役所ニ委託サレタル電報ヲ偽造シ又ハ法律ニ定メタルノ

外之レヲ開封シ又ハ之レヲ毀棄シ又ハ其電
報中ノ文章ヲ奪リニ告発シ又ハ故ラニ其事
ヲ人ヲシテ犯サシメ又ハ之レヲ補助シタル
者ハ三月ヨリ短カラサル禁獄ニ処ス可シ
第三百五十六條 代言人代唇人又ハ裁判代理
人其職務ニヨリ委託ヲ受ケタル事件ニ付同
時ニ双方ノ者ハ自己ノ意見ヲ述ヘ又ハ之レ
ヲ助ケタル者ハ皆三月ヨリ短カラサル禁獄
ニ処シ若シ自ラ委託ヲ受ケタル人ニ害ヲ加
ヘン為メ其相手ノ者ト同意シテ之レヲ犯シ
タル者ハ皆五年ヨリ長カラサル徒刑ニ処ス
ハシ

第三百五十七條 官長ニシテ其職務ヲ行フ片

故ラニ其部下ノ人ヲ教唆シテ輕罪ヲ犯サシ
メ又ハ故ラニ其部下ノ人ヲシテ其事ヲ為サ
シメタル者ハ其犯事ヲ処スルノ刑ヲ以テ処
スハシ

若シ甲ノ官吏乙ノ官吏ノ職務ヲ監督検査ノ
任ヲ受ケタルニ若シ其監察検査中乙ノ官吏
其同一事ヲ犯シタレハ又同刑ニ処スハシ

白耳義

第百四十七條 凡内外文武諸官吏法ニ背キ擅
マ、コ人ヲ捕縛シ或ハ縛セシメ繫獄シ或ハ
繫獄セシムル者ハ三月ヨリ二年マテノ獄ニ
處ス可シ

若シ其不正ノ繫獄ヲ行ヒ十日ヲ過ル者ハ六
月ヨリ三年マテノ獄ニ處ス可シ

若シ其繫獄ヲ行フ一月ヲ過ル者ハ一年ヨリ
五年マテノ獄ニ處ス可シ

此等ノ犯罪人ハ本刑ノ外五百「フラン」ヨリ
一千「フラン」マテノ罰金ヲ科シ尚ホ第三十
一條第ニ第ニ第ニノ権剥奪ニ處ス

第百四十八條 凡行政司法警保兵部諸官吏

及諸法ニ戻リ允許無ク家主ノ許可ヲ得ス人
家ニ入ル者ハ八日ヨリ六月マテノ獄ニ處シ
且フニ十六フランクヨリ二百フランクマテ
ノ罰金ヲ命ス可シ

第百四十九條 凡ソ内外及ヒ郵便電信掛リ諸
官吏書翰電信報ヲ猥リニ開封棄毀シ若クハ
其開封棄毀ノ便ヲ為ス者ハ十五日ヨリ二月
マテノ獄ニ處シ且フニ十六フランクヨリ五
百フランクマテノ罰金ヲ命ス可シ

第百五十條 凡ソ電信ヲ管スル者之ヲ外ニ公
布シ或ハ其書中ニ録スル所ヲ他ニ漏洩スル
者ハ十五日ヨリ六月マテノ獄ニ處シ且フニ
十六フランクヨリ五百フランクマテノ罰金

ヲ命ス可シ但裁判所ノ招呼ニ應シ証人トナ
リ或ハ國法ニ從テ公知セシムル者ハ坐セス
第百五十一條 凡ソ擅恣ノ所行ヲ以テ建國法
ニ定ムル人民ノ自由ト權利トヲ害シ或ハ害
セシムル内外警保官吏士卒ハ十五日ヨリ一
年マテノ獄ニ處ス可シ

第百五十二條 凡ソ此等ノ犯罪人其關係長官
ノ命ニ依テ行ヒシ由ヲ証シ且フ官等ヲ論ス
ルニ其命ニ從ハザルヲ得ヤル者ハ其命令ス
ル者ノミヲ罪ニ行フ者ハ罪セス

第百五十三條 凡ソ第百四十八條及ヒ百五十
一條ニ掲載スル所行ヲ允許シ若クハ命令ス
ル内外官吏及警保士官其欺カル、由ヲ陳告

スル片若シ事及フ可ケレハ勉メテ其命令允
許ヲ取消シ本犯ヲ告訴セシム否ナル者ハ法
ニ依テ罪ヲ科ス

第百五十四條 凡第百四十八條及第百五十一
條ノ允許命令ノ印意贋造ニ出ル者ハ贋造人
及惡心ヲ以テ偽印ヲ用フル者共ニ十年ヨリ
十五年マテノ懲役ニ處ス可シ

第百五十五條 凡行政警保或ハ司法警保ニ任
スル官吏該官ニ在リナカラ実ヲ知テ冤囚ヲ
放還スルヲ怠リ或ハ之ヲ拒ム者ハ一月ヨリ
一年マテノ獄ニ處ス可シ

第百五十六條 凡行政警保或ハ司法警保ニ任
スル官吏該官ニ罪スト雖モ實ヲ知テ冤囚ヲ
其該官ニ告クルヲ怠リ或ハ之ヲ拒ム者ハ八
日ヨリ六月マテノ獄ニ處ス可シ

第百五十七條 凡各種獄舎ノ監主獄卒門衛定
法ノ繫獄状若クハ罪案昏無キ者ヲ受領スル
者

檢事若クハ判官命ヲ証セズ妄ニ警保士官若
クハ其遺差人、獄囚ヲ示スヲ肯セサル者
録囚簿ヲ警保士官ニ示スヲ肯セサル者

以上ハ皆十五日ヨリ二年マテノ獄ニ處シ二
十六「フ」ラニクヨリ二百「フ」ラニクマテノ罰金
ヲ命ス可シ

第百五十八條 凡諸裁判官諸監事局官吏司法
警察官及警保諸官允許無クシテ宰相兩院議

士ヲ裁判シ或ハ裁判書ニ署名シ又ハ宰相及
兩院議士ヲ追捕シ若クハ告訴ノ命ヲ下シ或
ハ其命令書ニ署名シ又ハ宰相及兩院議士ヲ
捕縛スル命ヲ下シ若クハ其命令ニ署名スル
者ハ二百フランニヨリ二千フランニマテノ
罰金ヲ命シ且ツ公務ヲ充ス可キ權利ヲ奪フ
トアリ但臨時犯罪アルニ於テハ兩院議士ヲ
捕ルヲ許ス

第百五十九條 凡テ監事局官吏裁判官及ヒ警
保諸定則ノ場所外ニ繫獄スル者ハ罪前條ニ
同シ

第二百五十四條 凡内外官吏國法王命者司府

縣等ノ命令及ヒ判決施行及收稅等ニ抗シ軍
民ヲ募ラント要シ若クハ募ラシメ又ハ軍民
ヲ用ヒント要シ若クハ用ヒシムル者ハ一年
ヨリ五年マテノ獄ニ處ス可シ
是等ノ犯人ハ尚ホ第三十一條一二三ノ奪權
ニ處スルトアリ

第二百五十五條 凡前條ノ犯人既ニ其事ヲ成
就スル者ハ五年ヨリ十年マテノ禁錮ニ處ス
可シ

第二百五十六條 凡前二條ノ所為ニヨリ尚ホ
他ノ重罪ヲ犯ス者ハ重キニ依テ論ス
但其死刑ニ減ル者ハ一等ヲ減シ終身懲役ニ
處ス可シ

第 二 百 五 十 七 條 凡 内 外 官 吏 裁 判 官 地 方 官 吏
若 若 々 々 將 校 等 其 職 務 上 於 於 猥 褻 威 福 ヲ
擅 行 シ 人 々 強 暴 ヲ 加 ヘ ル 者 ハ 第 二 百 六 十 六
條 依 テ 論 重 後 罪 科 ス

第 二 百 五 十 八 條 凡 裁 判 官 及 行 政 官 吏 口 實 ヲ
逞 フ コ 事 當 テ 殊 刑 知 ラ サ ル ラ 為 シ 或 ハ
法 ノ 曖 昧 ヲ 稱 シ 至 當 ノ 処 分 ヲ 怠 リ 審 判 ヲ 忽
セ コ ス ル 者 ハ 二 百 フ ラ ニ 少 ヲ 五 百 フ ラ ニ
ク マ テ ノ 罰 金 ヲ 命 尚 ホ 有 司 タ ル 可 キ ノ 公
權 ヲ 奪 フ 可 也

第 二 百 五 十 九 條 凡 將 及 上 下 等 士 官 タ ル 者 政
令 戾 リ 用 兵 ヲ 拒 ム 者 ハ 十 五 日 ヲ 三 月 マ
テ ノ 獄 處 ス 可 也

○ 埃 及 國 ○
○ 埃 及 國 ○

第 三 百 三 十 二 條 裁 判 役 又 ハ 評 議 役 又 ハ 其 他
官 吏 犯 罪 被 告 人 ヲ 拷 問 ス 可 キ 命 下 レ 又
ハ 自 カ ラ 拷 問 ヲ 為 シ タ ル 時 ハ 有 期 ノ 繫 獄 ノ
刑 處 セ ラ レ 且 日 後 更 級 位 ヲ 得 或 ハ 公 務
任 務 可 カ ラ サ ル ノ 禁 受 可 也 ○ 若 シ 下
等 官 吏 其 上 等 官 吏 ノ 命 回 リ 右 ノ 罪 犯 シ
タ ル 時 ハ 其 命 下 セ シ 上 等 官 吏 ノ ミ 其 刑
ニ 處 ス 可 也 ○ 又 拷 問 ノ 為 メ 被 告 人 ノ 生 命 ヲ
害 シ 又 ハ 其 四 肢 ヲ 用 フ ル 能 ハ サ ル 至 ラ シ
メ シ 時 ハ 其 罪 ア ル 官 吏 人 ヲ 殺 シ 又 ハ 毀 傷 シ
タ ル 罪 ア ル 回 リ 其 相 当 ノ 刑 處 セ ラ ル 可

第百三十三條 裁判役、評議役又ハ其他ノ官吏
法律上ニ定ムル行ヨリ更ニ重キ刑ヲ犯人ニ
言渡スヲ命レ或ハ自カラ言渡シタル時又ハ
法律上ニ定ムル刑ヲ言渡サハルヲ命レ或ハ
自カラ之ヲ言渡サハル時ハ六月ヨリ少ナク
ラス三年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處
セラレ且ツ其職ヲ罷メラレテ日後裁判所又
ハ會議所ノ公務ニ任ス可カラサル禁ヲ受ク
可シ

第百三十四條 諸般ノ官吏、司法官吏、公ケノ兵
カヲ預カル官吏其役柄ヲ以テ法律上ニ定ム
ル場合ノ外定期ヲ遵守セス人民ノ意ニ及キ

強テ其任所ニ押入リタル時ハ六月ヨリ少ナ
カラス三年ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ
處セラル可シ○然レ凡右ノ官吏其上等官吏
ノ命ニ因リ之ヲ為シタルノ証ヲ立ツル時ハ
其刑ヲ免レ其命ヲ下シタル上等官吏ヲ右ノ
刑ニ知ス可シ○官吏ニ非サル者脅迫暴行ヲ
以テ人ノ任所ニ押入リタル時ハ一週ヨリ少
ナカラス六月ヨリ多カラサル時間禁錮ノ刑
ニ處セラル可シ

第百三十五條 公ケノ兵カヲ預カル官吏、警察
官吏、裁判所ノ命令層ヲ送達スル使吏其職務
ヲ行フニ方リ又ハ其上等官吏ノ命ヲ執行フ
ニ方リ法律及ヒ規則ニ及キテ人ニ暴行ヲ加

ハ其名譽ヲ毀害シ又ハ其身体ヲ痛苦セシム
ルニ至ル時ハ其暴行ノ枉重ニ准レテ一週ヨ
リ少ナカラズ一年ヨリ多カラサル時間禁錮
ノ刑ニ処セラル可シ但シ其暴行ノ更ニ重キ
罪タル時ハ其刑ヲシテ亦更ニ重カラシム可
シ

第百三十六條 諸般ノ官吏其權ヲ擅ニシ動産
又ハ不動産ヲ其所有者ノ意ニ及キ強テ已レ
ニ買収シ又ハ不正ニ之ヲ買収シ又ハ其所有
者ヲシテ其動産又ハ不動産ヲ強テ他人ニ賣
ラシメタル時ハ其等級職務ノ如何ヲ問ハス
罪ノ輕重ニ准シ六月ヨリ少ナカラズ三年ヨ
リ多カラサル時間禁錮ノ刑ニ處セラレ且ツ

日後更ニ級位ヲ得及ヒ公務ニ任ス可カラサ
ルノ禁ヲ受ク可シ

又其裁判言渡ヲ以テ枉奪セシ財産又其財産
ノ其終存在セサル時ハ其代價ヲ還ス可キ丁
ヲ言渡ス可シ

第百三十七條 官局ノ長タル官吏及ヒ其屬吏
又ハ政府各種ノ入額收納ヲ引受クル者及ヒ
附従者直税間税及ヒ各種ノ租税ヲ取立ツル
ニ方リ過分ノ高ヲ収斂スル時ハ左ノ刑ニ処
セラル可シ

官局ノ長タル官吏及ヒ入額收納ノ引受人ハ
有期ノ懲獄ノ刑ニ処セラレ屬吏及ヒ附従者
ハ六月ヨリ少ナカラズ三年ヨリ多カラサル

時間禁錮ノ刑ニ処セラル可シ○右ノ犯人ニハ過分ノ受取高ヲ還シ且ツ其高ニ當レル罰金ヲ出ス可キ丁ヲ言渡ス可シ

第百三十八條 官吏法律上ニ定ムル罰金ノ外更ニ罰金ノ名義ヲ以テ多収ノ金高又ハ物件ヲ受取リタル時又ハ法律上ニ於テ犯人ニ課ス可キ定數ニ過キタル罰金ヲ課セシ時又ハ裁判言渡旨ヲ以テ罰金ヲ言渡サ、ル前ニ其罰金ヲ出サレメタル時ハ有期ノ繫獄ノ刑ニ処セラル可シ○又右ノ犯罪官吏ニハ其不當ニ受取リタル高ヲ還シ且ツ其高ニ當レル罰金ヲ出ス可キ丁ヲ言渡ス可シ

第百三十九條 官吏又ハ州内ノ黄頭法、律上ニ

定メ且ツ政府ヨリ命シタル共同資益ノモノニ非サル工業ニ無算ニテ人民ヲ使役シタル時又ハ地方人民ノ資益ノ為メ已ムヲ得サルヲ許認セシニ非サル工業ニ無算ニテ人民ヲ使役シタル時ハ其罪ノ輕重ニ准シ六月ヨリ女ナカラス三年ヨリ多クテサ、ル時間追放ノ刑ニ処セラレ且ツ其犯人ノ官吏タル時ハ其官職ヲ罷メラル可シ○又其犯人ニハ其不正ニ使役セシ人夫ノ相当ノ雇賃ヲ拂フ可キ丁ヲ言渡ス可シ

第百四十條 官吏、屬吏、上等官吏ノ命令ヲ執行スル者裁判所ノ命令旨ヲ送達スル使吏、陸海軍ノ士官及ヒ兵卒、檢察、官吏等其旅行ノ途中

人民ノ家ニ泊レ飲食品又ハ徠ヲ強テ低價ニ
賣ラレメ又ハ無價ニテ奪取リタル時ハ一
週ヨリ少ナカラス一月ヨリ多カラサル時間
禁錮ノ刑ニ処セラル可レ○又一隊ヲ為レテ
進行スル兵卒ノ右暴行ヲ為レタル時ハ其士
官六月ヨリ少ナカラス三年ヨリ多カラサル
時間禁錮ノ刑ニ處セラル可レ○右犯人ノ官
吏タル時ハ其職ヲ罷メラル可レ○又右犯罪
人ニハ其奪取リレ物件ノ代價ヲ其持主ニ拂
フ可キ丁ヲ言渡ス可レ

官吏擅權

第百二十三條 官吏其任セラレレ威權ニ因リ
裁判役一名或ハ數名ニ命令ヲ為レ又ハ裁判

役一名或ハ數名ニ迫リ一方本人ヲ曲庇レ或
ハ之ヲ枉害スル裁判言渡ヲ得ント為レタル
時ハ一月ヨリ少ナカラス三月ヨリ多カラサ
ル時間禁錮ノ刑ニ處セラル可レ又右ノ犯罪
ニ因リ現ニ不正ノ裁判言渡ヲ為サレメ又ハ
故ラ裁判言渡ヲ為ストラ拒マレメタル時ハ三
月ヨリ少ナカラス十八ヶ月ヨリ多カラサル
時間禁錮ノ刑ニ處セラル可レ又ハ六月ヨリ少ナ
カラス三年ヨリ多カラサル時間追放ノ刑ニ
處セラル可レ

第百二十四條 若シ官吏ノ裁判役一名又ハ數
名ニ一方本人ヲ曲庇レ又ハ枉害スルヲ求メ
或ハ請ヒ或ハ勸メタル時ハ一千ポアスル

ヨリ少ナカラス五千「ピアストル」ヨリ多クサ
ル罰金ヲ言渡サル可レ

第百二十五條 若シ前條ノ犯罪ニ回リ現ニ不
正ノ裁判言渡ヲ為サレメ又ハ裁判言渡ヲ為
スヲ拒マレメタル時ハ四十五日ヨリ少ナカ
ラス三月ヨリ多クササル時間禁錮ノ刑ニ處
セラレ又ハ三月ヨリ少ナカラス六月ヨリ多ク
ラサル時間追放ノ刑ニ處セラレ可レ

第百二十六條 前數條ニ記シタル所為ニ回リ
裁判言渡ヲ為スヲ拒ミ又ハ不正ノ裁判ヲ言渡
レタル裁判所長又ハ裁判役ハ三年ノ時間
追放ノ刑ニ處セラレ且ツ日後再々裁判ノ職
務ヲ行フ可カラサルノ禁ヲ受ク可レ

第百二十七條 前條ニ記セレ以外ノ場合ニ於
テ裁判言渡ヲ為スヲ拒ミタル裁判役ハ八百
「ピアストル」ヨリ少ナカラス二千「ピアストル」
ヨリ多クササル罰金ヲ言渡サル可レ

第百二十八條 前數條ノ場合ニ於テ裁判役若
シ官吏ノ犯罪ヲ檢察官ニ報告セサル時ハ取
締ノ法則ニ及リ過失アリト看做シ其職ヲ罷
メラル可レ

第百二十九條 行法官吏裁判所ノ管轄タル可
キ人民ノ私權事務ヲ吟味シテ司法官ノ職務
ヲ侵レ且ツ双方本人或ハ一方本人ノ願ヲ受
ケテ司法官ノ裁判ヲ為サレ前ニ其事務ヲ
裁判シタル時ハ八百「ピアストル」ヨリ少ナカラ

ス六百「ピアストル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言
渡サル可シ

第百三十條 官吏其威權ニ回リ政府ノ命令或
ハ法律ノ執行ヲ妨ケ又ハ租税ノ取立ヲ妨ケ
又ハ裁判言渡或ハ其他相当ナル官吏ノ命令
ノ執行ヲ妨クル時ハ三年ノ時間禁錮ノ刑ニ
処セラル可シ○又官吏其職責ニ可キ上等官
吏ノ命ニ回リ已ムヲ得ス右ノ罪ヲ犯レタル
時ハ前ニ記セレ刑ノ適用ヲ止メ其命ヲ下レ
タル上等官吏ヲ其刑ニ處ス可ク若シ又其命
ヲ下レタルニ回リ前ニ記レタル刑ヲ適用ス
可キヨリ更ニ重罪ヲ犯レタル時ハ其命ヲ下
セシ上等官吏ヲ其重罪ニ相当スル刑ニ処ス
可シ

第百三十一條 鎮台、租税吏長、裁判役、會計吏、地
方行政官吏其管轄地内又ハ其威權ヲ行テ得
可キ地内ニ於テ公然或ハ陰密ニ法律上ノ禁
ニ背キ穀物及ヒ其他人民必須ノ品物ヲ賣買
シ又ハ親シク或ハ人ノ从入レ或ハ其他ノ詭
計ヲ用ヒテ右ノ罪ヲ犯レタル時ハ其職ヲ罷
メラレ埃及ノ二百五十「リブル」ヨリ少ナカ
ラス一千「リブル」ヨリ多カラサル罰金ヲ言
渡サル可シ○然レ氏右ノ諸官吏同上ノ地内
ニ於テ私有スル財産ヨリ生ゼレ産物ヲ賣買
スルハ此例ニ非ラス

第百六十一條 官吏又ハ政府ヨリ委任ヲ受ケタ

ル者郵便ニ托セシ書状又ハ其他ノ送達者ニ
托セシ書状ヲ破毀シ或ハ開封スルノ罪ヲ自
カラ犯シ又ハ人ヲシテ犯サシメタル時ハ百
ピアストルヨリ少ナカラス五百ピアストル
ヨリ多カラサル罰金ヲ言渡サレ且ツ一月ヨ
リ少ナカラス三年ヨリ多カラサル時間禁錮
ノ刑ニ知セラル可シ○又郵便役所ノ使用ヲ
受クル者官吏或ハ平民ノ右各状ノ破毀又ハ
開封ノ罪ヲ犯スヲ知テ之ヲ割セサル時ハ前
ニ記スル所ト同一ノ刑ニ處セラル可シ

○英吉利

判事強伏人

凡諸判事官府ノ威權ヲ挾ミ人ヲ強伏シテ処斷
スル者其官等ニ隨テ該事院或ハ上等裁判所ニ
於テ告訴スレハ革職ニ處シ更ニ贖罪及ヒ入獄
ニ處ス、判事強伏人以下同シ

官吏怠慢職掌

凡縣官死傷ヲ検査スル官吏邏卒等ノ事ヲ処斷
スルヲヲ委託セラル、者其職掌ヲ怠慢スル者
ハ輕罪ニ坐シ贖罪ニ處ス如シ事大ナル者ハ革
職ス、

不捕獲罪犯

凡捕獲スヘキ官吏重罪ヲ犯ス所ノ罪人ヲ見テ

捕獲セズ隠匿スル者ハ重罪ヲ輕悔スルノ罪ニ
坐シ一年一日ノ入獄ニ処断ス

若シ平人之リ見テ官司ニ告ケス隠匿スル者ハ
一年ニ過サル入獄ニ処シ及ヒ判事ノ適意ニ依
テ贖罪ニ処断ス

郵便吏役披封書

凡郵便吏役ノ故ヲ人ノ封書ヲ披開シ或ハ停

滯シ若クハ人ヲシテ披開停滯セシムル者ハ並

ニ輕罪ニ坐シ徒罪或ハ入獄ニ処ス若クハ判事

ノ適意ニ依テ徒罪及ヒ贖罪ヲ併用ス

若シ封書ヲ盜取隠匿破折スル者ハ重罪ニ坐シ

五年ヨリ七年ニ至ル徒罪ニ処シ或ハ二年ニ止

ル入獄ニ処シ若クハ苦役及ヒ監牢ヲ加テ如シ

財物證書等ニ係ル封書ハ終身ニ至ル徒罪ニ処
断ス

若シ摺搦スル文書或ハ新聞紙等ノ全ク緘封セ

ズ若クハ兩隅ヲ頭露スル者ヲ盜取隠匿破折停

滯等スル者ハ並ニ輕罪ニ坐シ贖罪或ハ入獄或

ハ判事ノ適意ニ依テ贖罪及ヒ入獄ヲ併用ス